

令和元年度

運動年鑑



小笠中学校体育連盟

目 次

はじめに	小笠中体連会長 大倉 浩	2
令和元年度を振り返って	理事長 春田 基行	3
小笠中学校体育連盟規約		4
小笠中学校体育連盟表彰規定		6
小笠中学校体育連盟申し合わせ事項		8
令和元年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表		9
令和元年度 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覧表		10
令和元年度 小笠中学校体育連盟 競技別大会予定表		11
小笠中学校陸上競技大会記録		12
小笠中学校水泳競技大会記録		13
令和元年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果		14
令和元年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表		15
令和元年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞		16
令和元年度 生徒奨励賞・顧問功労賞一覧		17
令和元年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果		19
バレーボール（男女）		20
卓 球（男女）		26
柔 道		29
陸上競技		30
バスケットボール（男女）		34
サッカー		38
ソフトボール		40
軟式野球		43
ソフトテニス（男女）		46
剣 道		52
水 泳		55
小笠中学校体育連盟 歴代役員一覧表		59
小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表		60

表紙絵 (菊川市立岳洋中学校 2年 松浦 妃菜)
裏表紙絵 (菊川市立岳洋中学校 2年 赤堀花唯梨)

はじめに

「感動ある大会にしよう」のスローガンのもと、令和元年度の小笠中学校総合体育大会、小笠新人総合体育大会、その他中体連の諸行事を三市教育委員会の御協力と先生方の御尽力により、無事終了することができました。心より御礼申し上げます。

今年の夏の大会は、雨の影響で思うような運営ができなかった競技がありました。特に野球は、何とか小笠の代表3校を決めましたが、試合で順位を決めることができませんでした。しかし、その3校が県大会でベスト8に入るなど、小笠の底力を見せてくれました。また、女子バレー、ボーラーも出場した3校すべてが県ベスト8に入り、男子ソフトテニス団体で菊川西中が準優勝をしました。陸上競技では女子2年100mで掛川西中の木村さん、菊川西中男子共通4×100mリレーが東海大会優勝の快挙を成し遂げてくれました。

今年度も小笠中学校体育連盟は、県総体のバスケットボールの部と駅伝の部、野球の部を担当しました。エコパアリーナなどで行われたバスケットボールの部では、小笠代表の男女4校も大健闘して大会を盛り上げてくれました。大会最終日には男子優勝、女子準優勝の浜松開誠館中の試合で高校生の大応援団も登場してインターハイのような活気となりました。この大会で、こんな場面に遭遇しました。ある私立中の女子チームが準々決勝で敗れ、そのチームの一人がベンチの荷物を運び出しながら大声で泣いていました。あまりの号泣ぶりに私は驚いて監督のところへ行き、「なぜあの選手はあんなにつらそうなのですか。高等学校との一貫校ならこの大会は通過点ではないのですか。」と聞きました。すると監督は、「本校は、高校で同じ部を続けるかは本人の自由です。あの生徒は、バスケットボール部に所属するのは中学までと決めています。」と答えてくれました。どんな理由かわかりませんが、高校まで活動を続ける生徒がいる中、自分の意思で中学での引退を決め、全力で取り組んできたこれまでの思いがあふれてたのでしょう。これも実に主体的な取組だと感じました。運動部活動は、「学級や学年を離れて生徒が活動を組織し展開することにより、生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成し、仲間や教師(顧問)と密接に触れ合う場としても大きな意義を有するものである。」と言われます。元広島観音高校サッカーチーム監督によると生徒の自主性、主体性を發揮させるキーワードは、「いかにその活動時間を気持ちよく過ごしたか」と言っています。小笠中学校体育連盟としてもこの点についてさらに研修していくことを思っています。皆様、今後も御協力をお願いします。

令和2年1月14日

小笠中学校体育連盟
会長 大倉 浩

令和元年度を振り返って

30年続いた平成が終わり、新たな元号が『令和』となり、新たな時代のスタートとなりました。小笠中学校体育連盟は、会長2年目となられる大倉浩校長先生のもと、本年度も大きな成果を残すことができました。今年度は悪天候に頭を悩まされ、大会期日や日程の変更を余儀なくされる中でしたが、今年度の全事業を無事に終えることができました。これも各競技部長を中心とした迅速な対応と中体連の活動に関わる全ての方の御協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

さて、令和元年度の小笠中学校総合体育大会は、6月22日の水泳を皮切りに7月29日の陸上競技大会まで熱戦が繰り広げられました。総合杯男子の部は、サッカーの部優勝、ソフトテニスの部、卓球の部、陸上競技の部で準優勝、バスケットボールの部3位の成果を上げた掛川市立西中学校が2年ぶり10回目の栄冠を手にしました。女子の部は、掛川市立大浜中学校が卓球の部、バスケットボールの部、剣道の部の3競技を制し、平成8年度から始まる総合杯において初の栄冠を手にしました。

そして、小笠大会を勝ち抜いた選手の上位大会での活躍も光りました。団体競技では、女子バレーボールで3校が県大会で入賞し、桜が丘中学校が準優勝、浜岡中学校が3位で東海大会出場、ソフトテニスでは菊川西中学校男子が団体戦準優勝し、個人戦と併せて東海大会出場を果たしました。軟式野球でも3校が県大会で入賞を果たしました。個人競技においても別項に記載してありますが、東海大会で優勝した菊川西中学校の陸上男子共通4×100mRは全国大会の記録に匹敵する好タイムなど、数多くの選手が大舞台でも活躍を見せてくれました。

運営面では、支部大会はもちろんのこと、バスケットボール、野球、駅伝の県大会を小笠支部で担当し、井浪貴斗バスケ部長、杉山優 野球部長、小林大晃 県駅伝部長を中心に、素晴らしい運営をしていただきました。役員の先生方や競技団体の方々に改めて感謝いたします。

また、今年度は小笠中体連のホームページを開設し、関係者が大会日程や結果等をいつでも閲覧できるように広報活動にも力を入れてきました。子どもたちの活躍を知っていただけるよう、今後もより良い運用を目指していきたいと思います。

来年はいよいよ56年ぶりに再び東京で夏季オリンピックが開催されますが、準備を進めてきた全国中学校体育大会も東海ブロックで開催されます。バレーボール、卓球、柔道、ソフトテニスの4競技が本県での開催となります。スローガンには掛川西中学校の生徒の作品が選ばれ、「きらめく汗！輝く笑顔！夢が叶う東海の空」となっています。部活動運営の転換期を迎えていますが、このスローガンのように部活動や競技を通して、健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育んでいくという大きな意義は変わりありません。夢や目標に向かって邁進する中学生の支えとなるよう、尽力していきたいと思います。

最後になりましたが、掛川市、菊川市、御前崎市など各市において公共施設を優先的に使用させていただきました。恵まれた環境の中で大会を盛大に開催できたことを深く感謝申し上げます。

令和2年1月14日

小笠中学校体育連盟
理事長 春田 基行

小笠中学校体育連盟規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 本連盟は、小笠中学校体育連盟という。

(事務局)

第2条 本連盟は、原則として事務局を会長の指定する学校におく。

(目的)

第3条 本連盟は、小笠中学校体育の健全な発展を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために下記の事業を行なう。

(1) 各種大会の開催、および講習会、研修会の開催

(2) 資料の収集、調査研究

(3) その他本連盟の目的達成に必要な事業

第2章 組 織

(組織)

第5条 本連盟は、掛川市・菊川市・御前崎市・御前崎市牧之原市の各中学校及び常葉大学附属菊川中学校が加盟してこれを組織する。

第3章 役 員

(役員の種別及び選任)

第6条

1. 本連盟は、次の役員をおく。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 若干名

(3) 理事長 1名

(4) 副理事長 (庶務) 1名

(5) 南部主任

(6) 北部主任

(7) 理事

(8) 編集委員 若干名

(9) 研修委員 若干名

(10) 会計 2名

(11) 会計監査 2名

(12) 運動年鑑編集委員長 1名

2. 正副会長は校長、教頭会の推薦による。

3. 理事長、副理事長、会計、運動年鑑編集委員長は理事会で選任し、会長が委嘱する。

4. 南部主任は、南部、北部の理事の推薦による。

5. 原則として理事は、掛川市、菊川市、御前崎市、御前崎市牧之原市の各中学校と常葉大学附属菊川中学校の体育担当教員の代表 1名とする。

6. 編集委員は、理事長、副理事長、会計、編集委員長、南北主任等で構成し、会長が委嘱する。

7. 研修委員は理事会で選出し、会長が委嘱する。

8. 会計監査 2名は、校長より 1名、教員より 1名とし、理事会で選出する。

9. 本連盟に顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦による。

(役員の任務)

第7条 役員の任務は次のとおりとする。

(1) 会長は、本連盟を代表し、会務一切を統領する。

(2) 副会長は会長を補佐して会務を掌理し、会長に事故あるときは、その代理を務める。

(3) 理事長、副理事長は会長の指示を受けて、会務一切の立案と処理にあたる。

(4) 理事は理事会を構成し、組織し、事業その他重要な事項について審議する。

(5) 会計は、本連盟の会計の事務を行う。

(6) 会計監査は、隨時本連盟の会計を監査する。

(7) 運動年鑑編集委員長は運動年鑑編集において立案と処理にあたる。

(8) 顧問は、会長の諮問に応じて、重要な事項に關し建議する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は 1ヶ年とする。但し再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残留期間とする。

第4章 会議

(会議の種別)

第9条 本連盟の会議は、理事会とする。

(会議の構成)

第10条 理事会は、本連盟の役員をもって構成する。

(会議の招集)

第11条 理事会は、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時には臨時に開くことができる。

(会議に付議する事項)

第12条 理事会は次の事項を付議する。

- (1) 組織の決定
- (2) 事業の審議決定
- (3) 予算の議決、決算の承認
- (4) 規約の改正
- (5) その他重要事項の審議決定

第5章 競技部

(競技部)

第13条

1 本連盟には、理事会のもと次の競技部をおく。

バレーボール 卓球 柔道 陸上 バスケットボール サッカー
ソフトボール 軟式野球 ソフトテニス 剣道 水泳
(体操・新体操・バドミントン)

2 競技部にはそれぞれ正副部長をおく。ただし、正副部長をおかない場合もある。正副部長の選出は、理事会で推薦し会長が委嘱する。

3 各競技部は年間計画に基づき事業を実施し、運営の任にあたる。

第6章 会計

(経費)

第14条 本連盟の会計は、負担金及びその他をもってあてる。

(事業年度)

第15条 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 規約の変更

(規約の変更)

第16条 本連盟の規約は、理事会の承認を経なくては変更することはできない。

第8章 雜則

第17条 本連盟規約の施行に必要な細則は別に定める。

附則

- 1 本規約は、昭和50年4月1日から施行する。 9 本規約は、平成29年4月1日一部修正。
- 2 本規約は、昭和56年4月1日一部修正。 10 本規約は、平成31年4月15日一部修正。
- 3 本規約は、平成5年4月1日一部修正。
- 4 本規約は、平成11年4月1日一部修正。
- 5 本規約は、平成14年4月10日一部追加。
- 6 本規約は、平成15年4月10日一部追加。
- 7 本規約は、平成19年4月9日から施行する。
- 8 本規約は、平成24年4月1日から施行する。

細則

1 感謝状ならびに記念品贈呈に関する細則

- (1) 本連盟は、連盟発展のために尽力した者に感謝状ならびに記念品を贈呈する。
- (2) 贈呈候補者の調査と推薦に関しては、会長がその任にあたり、贈呈該当者は理事会の議を経て決定する。
- (3) 会長、副会長、理事長を務めたものに対して感謝状を贈呈する。また、競技部長を3年務めたものに対して感謝状を贈呈する。表彰はその任を退いた時とする。県競技部長および西部競技部長を務めた場合、特別表彰もある。
- (4) 感謝状及び記念品は顧問者会席上で贈呈する。

2 競技の参加及び複数の競技参加に関する細則

- (1) 県中体連の「夏季大会参加基準」に準ずる。
- (2) 複数種目に参加する場合には、継続的に練習を行っている者に限る。
- (3) 県大会への出場資格を得た者は必ず県大会へ参加することを原則とする。しかし、支部大会充実のための種目の事情などにより、要請があれば例外を認める。

小笠中学校体育連盟表彰規定

1 総合体育大会の表彰

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道・柔道について

(1) 団体表彰

- ア 1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 準優勝チームに楯、カップ、トロフィーのいずれかを与える。(柔道は除く)
- ウ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)と個人賞状を与える。
(1位にはメダルも与える)個人賞状の数は、部ごとに次のように定める。

野球25人・ソフト25人・バスケット15人・バレー18人
ソフトテニス8人・サッカー30人・卓球10人・剣道7人・柔道7人

エ 県大会出場のために順位決定戦を行っても、両チームとも3位とする。

オ 出場総参加チームが5チーム以上の場合は、上記の規定通りとする。

4チームの場合は、2位までを該当とする。

3チームの場合は、1位だけを該当とする。

これは、新人戦も同様とする。

カ 大会前に団体としてエントリーすれば、総合杯得点に加点する。

(2) 個人戦表彰

- ア 1位から8位まで賞状を与える。ただし、出場人数が10名以下の場合は3位までとする。3名以下の場合は1位のみとする。
- イ 1位にはメダルも与える。(一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。事情により1個800円で購入は可)
- ウ 県大会への出場権を得ても、勝利していない場合や試合をしていない場合は、賞状は与えない。そのかわりに激励賞を与える。
- エ 県大会出場権を得た者で、8位以内に入れなかった者には激励賞を与える。

陸上・水泳について

(1) 団体(総合)表彰

- ア 男女総合1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- ウ 男女総合、男子総合、女子総合のそれぞれ1位から3位校に、賞状を与える。

(2) 個人表彰

- ア 1位から6位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が10名以下の場合は3位までとする。3名以下の場合は1位のみとする。)
- イ 優勝者には、メダルを与える。(リレーは4人に与える。1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。)
- ウ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

2 新人総合体育大会の表彰

南部、北部別の大会をもって小笠地区の新人戦とする。(ただし、陸上、剣道、水泳については南北合同開催とする。)南部、北部でどちらかが、2チームになってしまった場合においては南北合同で開催する。3チーム以下の団体表彰は1位のみ行う。

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道について

(1) 団体表彰

- ア 南部、北部各1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)を与える。(ただし3位について未勝利のチームには賞状を与えない)個人賞状は優勝チームだけに与え、人数は総体の人数に準じる。

(2) 個人戦表彰

- 1位から3位まで賞状を与える。

陸上・水泳について

(1) 団体(総合)表彰

- ア 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合、女子総合の1位から3位までに賞状を与える。
- ウ 水泳はリレー種目に出場すれば団体とする。

(2) 個人表彰

- ア 1位から3位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が3名以下の場合は1位のみとする。)
- イ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

3 顧問功労賞等の表彰

(1) 顧問功労賞

- ア 総体で団体（総合）優勝した場合
・大会表彰時に授与する。合同チームは監督に与えることを基本とする。
イ 県大会で8位以内に入った場合
ウ 東海、全国大会に出場した場合
・該当の大会は総体とし、新人戦は含まない。上位大会についても、中体連の大会（通信陸上を含む）を原則とする。
・各種競技団体が開催する大会は、全国大会に出場した場合、理事会で検討する。

(2) 部長功労賞

- ア 3年以上競技部長を務めた部長を表彰する。表彰はその任を退いた時とする。
イ 顧問者会の際に表彰する。
ウ 県、西部部長の場合には特別表彰もある。

(3) 県大会以上の優勝顧問功労賞

- ア 県大会以上の優勝顧問に対して表彰する。
イ 顧問者会の際に表彰する。

4 小笠中学校総合杯の表彰

- (1) 男子の部、女子の部を設け、小笠中学校総合体育大会において上位の3校を表彰する。1位に賞状と優勝杯を、2位と3位に賞状を授与する。
(2) 部活動として日常的に活動している学校が2校以下の競技と、合同チームは得点の対象としない。
(3) 入賞得点
各競技ごとに、1位に5点、2位に3点、3位に2点（3位が2校の時には各1点）を与える。ただし、出場校が小笠地区の半数以下の競技については、1位は3点、2位は2点とする。
(4) 入賞競技は団体競技のみとする。
(5) 入賞得点が同点の場合は次の通りとする。（合同チームの結果は除く）
ア 優勝した競技数の多い学校を上位とする。
イ さらに同点の場合には、2位の競技数の多い順とし、それでも決しない場合は3位の競技数の多い順の学校とする。
ウ さらに同点の場合には、県大会への出場数の多い学校を上位とする。
エ それでも決しない場合には、男女別の運動部加入人数の少ない学校を上位とする。
(6) 表彰は陸上大会の際に行う。
(7) 優勝杯は持ち回りとする。

5 特別賞（グッドマナー賞）の表彰

中体連の精神である「スポーツを通して健全な中学生の育成」というねらいから、小笠中学校総合体育大会の取り組みに対し、中学生らしい態度で臨んだ団体（戦績は関係しない）、グループ、あるいは個人を賞揚する。（善行賞とは異なる）

- (1) 各競技部（男女別）から推薦された個人または1グループ、1団体とし、要項に明記する。
(2) 選考基準は、中体連の申し合わせ事項を考慮し、各競技の特性を十分生かす内容とする。
(3) 総合杯とは別とする。
(4) 9月の理事部長会で承認し、該当校に賞状を渡す。その年によって、個人あるいはグループ、団体となってもかまわない。
(5) 各競技男女別に特別賞選考委員会（部長、副部長、強化対策委員等）を設置し、選考する（必ず各競技部顧問の承認の上、該当校理事にも連絡を取る）。
(6) 合同チームも対象とし、賞状は学校数分与える。
(7) 該当者がいる場合もありうる。

【補足】

- (1) 各校の日頃の様子を加味し、まず該当校顧問が受賞するにふさわしいか判断する。顧問が受賞するにふさわしくないと思われる場合、競技部内の推薦からはずす。
(2) 各校の理事が校内の日頃の努力や他の部活との比較から、辞退する場合もあり得る。
(3) 9月の理事部長会で各部から推薦された部が、グッドマナー賞の趣旨、目的にふさわしいか検討し、決定する。

※本表彰規定は、昭和63年4月15日より施行する。

平成6年 4月18日	一部修正	平成19年 3月2日	総合杯得点競技となる基準改定
平成8年 4月11日	総合杯規定作成	平成23年 4月11日	総合杯入賞種目の基準改定
平成10年 4月10日	新人戦規定改正	平成24年 4月9日	陸上・水泳における個人表彰規定の改定
平成11年 4月9日	新人戦規定改正	平成25年 4月8日	団体表彰規定改正
平成12年 6月5日	個人表彰規定改正	平成27年 4月9日	一部修正
平成14年 6月10日	一部修正	平成28年 4月12日	一部修正
平成15年 11月4日	総合杯順位決定の追加	平成28年 5月30日	一部修正
平成16年 6月7日	総合杯決定手順追加・新人戦規定改定 生徒奨励賞・顧問功労賞基準改定	平成29年 4月12日	レプリカ贈呈を削除
平成17年 4月8日	生徒奨励賞・顧問功労賞基準改定	平成31年 4月15日	総合体育大会における個人戦表彰規定改定
平成17年 6月6日	総合杯・グッドマナー賞における合同チーム の規定、賞状の数の追加		

静岡県中学校体育連盟スローガン

－ 感動ある大会にしよう －

- 1 「挑戦」 自らが持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレーしよう
- 2 「友愛」 友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持つ。
- 3 「自立」 ルールやマナーを守り、さわやかさの残る大会にしよう。

小笠中学校体育連盟申し合せ事項（生徒用）

- 1 「基　　本」 静岡県中学校体育連盟のスローガンをよく理解し、実践します。
- 2 「心　　得」 常に中学生としての自覚を持ち、スポーツマンらしい行動をします。
- 3 「競技場」 競技場や控室は、すべて心身を鍛えるところであるという自覚をもち、スポーツマンシップを發揮し、自己の向上につとめ、使用後の片づけも確実に行います。
体育館へのアイスボックスやおしほり等の持ちこみには十分注意し、床（フロア）を大切にします。
- 4 「服装など」 シャツのそそをズボンやパンツの中に入れ、乱れた服装でプレーしたり応援したりしないよう、常に正しい服装をします。靴下についても競技にふさわしいものにします。また、学校への持ち込みが禁止されている不要物は持っていません。
競技を見学する時は、保護者とともに見学します。服装は、自校の制服か体操服（自校の部活動で許可されている服装）で見学します。
- 5 「飲食物」 練習試合を含めて競技会に出場する時は、弁当と水筒を持参し、ゴミは必ず持ち帰ります。菓子やジュース類は絶対に持っていきません。また、会場や移動途中で、菓子やジュース類の買い喰いはしません。
自己の健康管理に心掛け、常にベストコンディションで競技することがスポーツマンには大切なことを実践します。
- 6 「競技規定」 競技会でのベンチに入る人数等は、大会規定をしっかりと守ります。

【お知らせ】

小笠中学校体育連盟のホームページにおいて、小笠中学校総合体育大会及び小笠新人総合体育大会の各競技大会結果を掲載します。

「<https://www.ogasacyu.com/>」または「小笠中体連」で検索していただくと御覧いただけます。

令和元年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表

役職名	氏名	勤務校	役職名	氏名	勤務校
会長	大倉 浩	浜岡	理事	三浦 浩二	原野谷
副会長	石山 近	大須賀	"	伊藤 拓史	桜が丘
"	古地 隆	菊川西	"	増田 陽一	掛川北
理事長	春田 基行	御前崎	"	安間 結	掛川西
副理事長	青島 直道	掛川東	"	青島 直道	掛川東
会計(本部)	岡本 健志	大浜	"	吉田 順平	栄川
会計(事業費)	伊藤 拓史	桜が丘	"	湯山 珠沙	城東
運動年鑑編集委員長	青嶋 翔太	岳洋	"	岡本 健志	大浜
南部主任	小野 芳彦	浜岡	"	原田 剛	大須賀
北部主任	吉田 順平	栄川	"	中村 茉由	常葉菊川
新体力テスト委員長	吉田 順平	栄川	"	佐塚 博茂	菊川西
ホームページ	青嶋 翔太	岳洋	"	村松 康	菊川東
会計監査	匂坂 弘	菊川西	"	青嶋 翔太	岳洋
"	齊藤 竹世	岳洋	"	小野 芳彦	浜岡
			"	春田 基行	御前崎

競技名	部長氏名	勤務校	副部長氏名	勤務校
バレー	松下 裕伸	菊川西	加藤 啓太	掛川北
卓球	岡田 圭介	掛川北	山本 若奈 前川 恭佑 池ヶ谷将彦	栄川 岳洋 大浜
柔道	水嶋 志展	浜岡		
陸上	鈴木 達	菊川東	小林 大晃	菊川西
バスケット	井浪 貴斗	掛川西	増田 陽一 池田 佳将 河村耕太郎 山岡 文彦	掛川北 掛川東 御前崎 浜岡
サッカー	糸田 翼	掛川東	萩田 駿 藤根 昌樹	掛川北 菊川西
ソフト	鈴木 峻輔	桜が丘	石神 克海 水元 淳士	桜が丘 浜岡
野球	杉山 優	浜岡	伊藤 拓史 吉田 順平 平野 公一	桜が丘 栄川 御前崎
ソフトテニス	大倉佑太郎	掛川西	曾根 隆央 松下 浩人 川中 瑞貴 藤野 政夫	掛川東 菊川東 桜が丘 岳洋
剣道	高橋季実子	大浜	大石 英明	浜岡
水泳	杉山 晃弘	掛川東	海瀬 俊弥	掛川西

部活動顧問一覽表

令和元年度 中学校体育連盟 競技別大会予定表

種目	小笠大会			西部大会			東海大会			全国大会(三重県開催)			全国大会			小笠新人		
	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場
バレーボール	7 / 6 土 13 土 14 日 13 土 14 日	地元中・北中 河川北中 中割北中 大須賀中 大須賀中	7 / 7 日 14 日 13 土 14 日	河原中 河原中 河原中 河原中	7 / 25 不 26 金 27 土	このはなアリーナ このはなアリーナ	8 / 9 金 10 土	三重交通Gスポーツの社伊勢 三重交通Gスポーツの社伊勢	8 / 17 土 18 日 19 月 20 日	北部会場 大浜中 (子)大浜中	9 / 22 日 23 月	大須賀中 (子)大須賀中	9 / 22 日 23 月	板が丘中 (子)板が丘中	9 / 22 日 23 月	北部会場 大須賀中 (子)大須賀中		
卓球	7 / 13 土 14 日	さるーな さるーな	7 / 14 土	(子)浜岡中	7 / 24 水 25 木 26 金	静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館	8 / 6 火 7 水 8 / 6 火	三重県立ゆめドームうえの 三重県立ゆめドームうえの	8 / 20 火 21 水 22 木 23 金	ワカルちゃんブリーナー(滋賀県立体育馆)	9 / 21 土 20 時	さるーな	さるーな	さるーな	さるーな	さるーな	さるーな	
柔道	6 / 29 土 7 / 6 土	活躍中 (子)浜岡中	7 / 25 水 26 木 26 金	静岡市北部体育馆 静岡市北部体育馆	8 / 6 火 7 水 8 / 6 火	西野公園体育馆 西野公園体育馆	8 / 17 土 18 日 19 月	ワイング武道館	8 / 20 火 21 水 22 木 23 金	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない		
陸上	7 / 29 月 7 / 30 火	浜岡総合グラウンド (子)浜岡中	5 / 8 土 9 日	エコバスタジアム エコバスタジアム	7 / 20 土 21 日	草津登山競技場 草津登山競技場	8 / 9 金 10 土	三重交通Gスポーツの社伊勢 三重交通Gスポーツの社伊勢	8 / 20 火 21 水 22 木 23 金	浜岡総合グラウンド (子)浜岡中	9 / 28 土 29 日	浜岡総合グラウンド (子)浜岡中	9 / 28 土 29 日	浜岡総合グラウンド (子)浜岡中	9 / 28 土 29 日	浜岡総合グラウンド (子)浜岡中		
駅伝	7 / 6 土 7 日 13 土 14 日 15 月	大浜中・大浜中南館 (子)大浜中 浜崎島中 浜崎島中	10 / 19 土	小笠山運動公園	11 / 10 日	小笠山運動公園	11 / 10 日	小笠山運動公園	12 / 14 土 15 日	三重県立文化公園ボーリング生徒ラン	12 / 14 土 15 日	三重県立文化公園ボーリング生徒ラン	12 / 14 土 15 日	三重県立文化公園ボーリング生徒ラン	12 / 14 土 15 日	三重県立文化公園ボーリング生徒ラン		
バスケットボール	7 / 6 土 7 日 13 土 14 日 15 月	河原中 (子)河原中 河原中 河原中 河原中	7 / 29 月 30 火 31 水 1 日	エコバスタジアム エコバスタジアム (子)エコバスタジアム	7 / 20 土 21 日	小笠山運動公園	7 / 29 月 30 火 31 水 1 日	エコバスタジアム エコバスタジアム (子)エコバスタジアム	8 / 15 日 16 水 17 木 18 金	サオリーナ サオリーナ サオリーナ サオリーナ サオリーナ	8 / 15 日 16 水 17 木 18 金	ピックホエール、ビッグウェーブ 和歌山県立体育馆	9 / 21 土 22 水 23 木 24 土	ピックホエール、ビッグウェーブ 和歌山県立体育馆	9 / 21 土 22 水 23 木 24 土	ピックホエール、ビッグウェーブ 和歌山県立体育馆		
サッカー	6 / 30 日 7 日 13 土 14 日 15 月	堺運動公園 (子)堺運動公園 堺運動公園 堺運動公園 堺運動公園	7 / 26 金 27 土 28 日 29 月 30 月	添田平口・エコペ補助・橋松上・施設市區 工事補助・橋松上・施設市區 休息日。(子)青水経営G 平口・工芸G 市民クラブ・施設組合サッカーサー	8 / 6 火 7 水 8 / 1 土	三重交通Gスポーツの社会館 三重交通Gスポーツの社会館	8 / 6 火 7 水 8 / 1 土	三重交通Gスポーツの社会館 三重交通Gスポーツの社会館	8 / 19 月 20 時 21 水 22 木 23 金	ならでんフィールド 美良公民館屋上競技場、櫛原運動公園	8 / 19 月 20 時 21 水 22 木 23 金	ならでんフィールド 美良公民館屋上競技場、櫛原運動公園	9 / 21 土 22 水 23 木 24 土	ならでんフィールド 美良公民館屋上競技場、櫛原運動公園	9 / 21 土 22 水 23 木 24 土	ならでんフィールド 美良公民館屋上競技場、櫛原運動公園		
ソフト	7 / 6 土 7 日 13 土 14 日 15 月	堺中 堺中 堺中 堺中 堺中	7 / 30 日 1 日 13 土 14 日 15 月	堺運動公園 堺運動公園 (子)堺運動公園 堺運動公園 (子)堺運動公園	7 / 27 土 28 日 29 月 30 月 31 月	添田平口・エコペ補助・橋松上・施設市區 工事補助・橋松上・施設市區 休息日。(子)青水経営G 平口・工芸G 市民クラブ・施設組合サッカーサー	8 / 7 土 8 木 9 金 10 土 11 日	津市河原町グラウンド(第1、第2) 津市河原町グラウンド(第1、第2)	8 / 20 火 21 水 22 木 23 金	紀の川防運動場、若出市民総合体育馆	8 / 20 火 21 水 22 木 23 金	紀の川防運動場、若出市民総合体育馆	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中		
野球	7 / 6 土 7 日 13 土 14 日 15 月	大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿中	7 / 30 日 1 日 13 土 14 日 15 月	大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿	8 / 7 土 8 木 9 金 10 土 11 日	鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷	8 / 7 土 8 木 9 金 10 土 11 日	四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム	8 / 20 火 21 水 22 木	鳴鹿市霞ヶ浦野球場、第四回大東北 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿	8 / 17 土 18 日 19 月 20 火	鳴鹿グレンステラジアム 甲賀市民スタジアム	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中		
ソフトテニス	7 / 6 土 7 日 13 土 14 日 15 月	大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿中 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿	7 / 30 日 1 日 13 土 14 日 15 月	大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿	8 / 7 土 8 木 9 金 10 土 11 日	鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷 鳴鹿、堺、西ヶ谷	8 / 7 土 8 木 9 金 10 土 11 日	四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム 四日市ドーム	8 / 20 火 21 水 22 木	鳴鹿市霞ヶ浦野球場、第四回大東北 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿 大東北・鳴鹿	8 / 17 土 18 日 19 月 20 火	鳴鹿グレンステラジアム 甲賀市民スタジアム	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中	9 / 21 土 22 日 23 月	原野谷中 (子)原野谷中		
剣道	7 / 7 日 14 日	浜岡中 (子)浜岡中	7 / 7 日 7 日 13 土 14 日 15 月	浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中	7 / 27 土 28 日 29 月 30 日 31 月	静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館	8 / 9 金 10 土 11 日 12 日 13 日	三重県立ゆめドームうえの 三重県立ゆめドームうえの	8 / 21 水 22 木 23 金	丸富インテックアリーナ木原 (子)浜岡中	8 / 21 水 22 木 23 金	丸富インテックアリーナ木原 (子)浜岡中	9 / 21 土 22 日 23 月	浜岡中 (子)浜岡中	9 / 21 土 22 日 23 月	浜岡中 (子)浜岡中		
水泳	6 / 22 土 6 / 23 日	鷹川西中 (子)鷹川西中	7 / 7 日 7 日 13 土 14 日 15 月	浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10	7 / 6 土 7 木 14 日 15 日 22 日	浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10 浜松市総合水泳場Tob10	8 / 9 金 10 土 11 日 12 日 13 日	日本ガイシアリーナ競泳プール *水泳競技は愛知県開催	8 / 17 土 18 日 19 月 20 火 21 水	京都市アクアアリーナ 京都市アクアアリーナ	8 / 17 土 18 日 19 月 20 火 21 水	京都市アクアアリーナ 京都市アクアアリーナ	8 / 31 土 9 / 1 日	浜川西中 (子)浜川西中	8 / 31 土 9 / 1 日	浜川西中 (子)浜川西中		
体操	7 / 7 日 14 日	浜岡中 (子)浜岡中	7 / 7 日 7 日 13 土 14 日 15 月	浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中 浜岡西中	7 / 27 土 28 日 29 月 30 日 31 月	静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館 静岡県武道館	8 / 9 金 10 土 11 日 12 日 13 日	三重県立ゆめドームうえの 三重県立ゆめドームうえの	8 / 21 水 22 木 23 金	ジエティクトアリーナ奈良	8 / 21 水 22 木 23 金	ジエティクトアリーナ奈良	8 / 19 土 20 日	ペイコム総合体育馆 ペイコム総合体育馆	8 / 19 土 20 日	ペイコム総合体育馆 ペイコム総合体育馆		
新体操																		
バドミントン																		

小笠中学校陸上競技大会記録

(令和元年度 第73回大会まで)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
男	100メートル	縣 利至 馬場 貴士	岳 洋 掛川北	11"08	46 56
	200メートル	村松 匡哲	掛川西	22"82	54
	400メートル	横山 直広	掛川西	52"22	62
	800メートル	杉村 直柔	掛川北	2'01"75	66
	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'13"97	73
	3000メートル	進士 和樹	菊川東	9'20"53	48
	110メートルH	神田 就太	掛川西	14"91	64
	低400メートルR	菊川西中		47"69	72
	共400メートルR	菊川西中		44"28	73
	高800メートルR	掛川北中		1'35"90	54
子	走 幅 跳	村上 豪 原 巧	岳 洋 御前崎	6.65m 6.65m	66 70
	走 高 跳	高塚 佳成	掛川北	1.86m	42
	棒 高 跳	松浦 勝久	掛川北	4.10m	46
	三 段 跳	岡本 和也	菊川西	12.50m	24
	砲 丸 投 げ	袴田 康信 塙 見 隆夫	掛川北 岳 洋	14.23m 12.26m	41 64
女	100メートル	山本 記子	桜が丘	12"59	72
	200メートル	渡邊 瑛里	掛川西	26"26	66
	800メートル	中島 葵	菊川西	2'17"97	64
	1500メートル	中島 葵	菊川西	4'43"27	64
	100メートルH	松下 里帆	菊川西	14"93	71
	低400メートルR	菊川西中		52"29	70
	共400メートルR	菊川西中A		50"64	71
	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	5.42m	66
	走 高 跳	岩崎 真弓	城 東	1.65m	37
	砲 丸 投 げ	大橋 恵子	大須賀	12.69m	34

オーブン種目大会記録 (第35回より)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
1 男	100メートル	原 巧	御前崎	12"14	68
2 男	100メートル	赤堀 真	岳 洋	11"40	71
1 男	1500メートル	武田 悠佑	浜 岡	4'37"01	72
2 男	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'24"42	66
1 女	100メートル	木村 美結	掛川西	13"03	72
2 女	100メートル	丹羽 花香	菊川西	12"73	71
1 女	800メートル	中島 葵	菊川西	2'27"49	62
2 女	800メートル	中島 葵	菊川西	2'20"84	63
1 男	走 幅 跳	村上 了太	岳 洋	5.39m	61
2 男	走 幅 跳	村上 了太	岳 洋	6.06m	62
1 女	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	4.90m	65
2 女	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	5.42m	66

小笠中学校水泳競技大会記録

(令和元年度 第62回大会まで)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
男	50m自由形	小林 亮	掛川東	25"93	2016
	100m自由形	松村希良軌	掛川東	54"93	2016
	200m自由形	松村希良軌	掛川東	1'59"63	2016
	400m自由形	田島 冬野	菊川西	4'27"25	2014
	1500m自由形	山下 隣	岳 洋	17'32"92	2009
	100m平泳ぎ	小林 亮	掛川東	1'10"61	2016
	200m平泳ぎ	鈴木 雄太	掛川東	2'34"04	1998
	100m背泳	黒田 雄太	岳 洋	1'06"01	2010
	200m背泳	黒田 雄太	岳 洋	2'21"02	2010
	100mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	1'00"75	2006
子	200mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	2'16"73	2006
	200m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	2'18"74	2010
	400m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	4'52"58	2010
	400mメドレーリレー	掛川東中		4'36"00	2016
	400mリレー	掛川東中		4'09"82	2016
女	800mリレー	菊川西中		11'50"50	1991
	50m自由形	寺下 凜	掛川東	28"95	2017
	100m自由形	金子 春香	桜が丘	1'00"67	2008
	200m自由形	金子 春香	桜が丘	2'12"57	2008
	400m自由形	清水 千尋	浜 岡	4'40"46	1998
	800m自由形	大橋 保南	岳 洋	9'31"90	2005
	100m平泳ぎ	澤崎 瑞奈	菊川東	1'18"00	2014
	200m平泳ぎ	澤崎 瑞奈	菊川東	2'48"19	2014
	100m背泳	松浦 可苗	栄 川	1'09"49	2013
	200m背泳	松浦 可苗	栄 川	2'25"62	2013
	100mバタフライ	松下 紋華	大須賀	1'08"01	2008
	200mバタフライ	杉山 多英	桜が丘	2'27"75	2014
	200m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	2'27"51	2012
	400m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	5'11"97	2012
	400mメドレーリレー	岳洋中		4'53"40	2009
	400mリレー	浜岡中		4'25"38	1998

※36回大会より、男女の50m自由形が正式種目になった。

令和元年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果

種 目	男 子			女 子		
	優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1 バレー	大 浜	掛川東	菊川西 浜 岡	桜が丘	御前崎	浜 岡 岳 洋
2 卓 球	岳 洋	掛川西	桜が丘 御前崎	大 浜	掛川西	桜が丘 岳 洋
3 陸 上	菊川西	掛川西	浜 岡	菊川西	掛川西	掛川東
4 バスケ	浜 岡	掛川東	掛川西 岳 洋	大 浜	御前崎	掛川東 菊川西
5 サッカー	掛川西	御前崎	掛川北 菊川東			
6 ソフト				岳 洋	原野谷	掛川東 菊川西
7 野 球	大浜・浜岡・岳洋（県大会出場校）					
8 ソフトテニス	菊川西	掛川西	掛川東 菊川東	浜 岡	桜が丘	掛川北 菊川東
9 剣 道	大須賀	菊川東	御前崎	大 浜	菊川西	

総合杯 歴代の結果

	男 子					女 子						
	1 位	点	2 位	点	3 位	点	1 位	点	2 位	点	3 位	点
平成8年度	浜 岡	20	掛川北	12	掛川東	12	浜 岡	15	掛川東	11	掛川西	9
平成9年度	浜 岡	16	掛川西	14	大 浜	8	掛川北	17	岳 洋	13	原野谷	8
平成10年度	掛川西	17	大須賀	11	浜 岡	9	掛川東	15	掛川西	13	岳 洋	11
平成11年度	浜 岡	15	菊川東	14	掛川東	12	浜 岡	17	掛川西	13	掛川北	11
平成12年度	掛川西	15	浜 岡	14	掛川北	9	掛川北	16	浜 岡	15	掛川西	13
平成13年度	掛川西	12	浜 岡	11	掛川北	11	掛川北	18	掛川東	15	掛川西	12
平成14年度	浜 岡	15	掛川西	12	掛川北	10	掛川西	14	掛川東	14	掛川北	12
平成15年度	浜 岡	・	城 東	13	大須賀	10	掛川東	13	掛川北・掛川西・原野谷	9		
平成16年度	桜が丘	11	大須賀	10	掛川西	10	掛川西	15	掛川北	13	大須賀	8
平成17年度	掛川西	18	掛川東	15	浜 岡	8	原野谷	13	常葉菊川	10	掛川西	10
平成18年度	掛川西	22	掛川北	10	菊川西	8	菊川東	10	掛川西	9	大 浜	7
平成19年度	掛川東	18	掛川西	13	御前崎	11	掛川西	17	菊川西	8	掛川北	8
平成20年度	掛川西	15	掛川東	11	掛川北	10	掛川西	18	浜 岡	12	大須賀	8
平成21年度	掛川西	21	浜 岡	11	掛川東	10	掛川西	13	桜が丘	9	浜 岡	8
平成22年度	掛川東	16	菊川西	13	掛川西	11	岳 洋	13	掛川西	11	掛川北	10
平成23年度	菊川西	16	掛川北	14	掛川東	12	菊川西	15	浜 岡	11	御前崎	9
平成24年度	掛川東	15	菊川西	12	掛川西	9	御前崎	9	桜が丘	9	掛川北	9
平成25年度	掛川西	18	掛川東	14	浜 岡	10	浜 岡	11	桜が丘	11	掛川東	9
平成26年度	浜 岡	16	御前崎	11	桜が丘	11	掛川北	11	掛川西	10	御前崎	8
平成27年度	掛川北	12	菊川西	11	掛川西	10	掛川西	15	桜が丘	8	浜 岡	7
平成28年度	掛川東	10	掛川北	9	御前崎	8	掛川西	13	菊川西	10	桜が丘	9
平成29年度	掛川西	12	掛川北	8	桜が丘	8	菊川西	14	掛川西	10	御前崎	9
平成30年度	掛川北	15	掛川東	10	菊川西	9	浜 岡	16	菊川西	12	御前崎	11
令和元年度	掛川西	15	菊川西	10	浜 岡	10	大 浜	13	菊川西	9	桜が丘	9

令和元年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表

大会出場校数 6 10 13 14 8 15 12 7

県出場枠	2	1	2	1	3	3	1			○は団体種目で県大会出場	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
男子	バレー	卓球	陸上	バスケ	サッカー	野球	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計				
原野谷											0				12
桜が丘		1									1		1		10
掛川北					1						1		1		11
掛川西		3	3	1	⑤		③				15	1	2	2	1
掛川東	②			③			①				6		2	1	3
栄川											0				12
城東											0				12
大浜	③				③						6	1		2	5
大須賀							③				3	1		1	9
常葉菊川											0				12
菊川西			5			⑤					10	2		1	2
菊川東				1		1	2				4			2	8
岳洋		⑤		1		③					9	1		1	2
浜岡			2	⑤		③					10	1		1	3
御前崎		1			3						4		1	1	7

※野球については県大会出場校に3点

大会出場校数 14 11 14 12 9 12 4

県出場枠	3	2	2	*	4	2	1			○は団体種目で県大会出場	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
女子	バレー	卓球	陸上	バスケ	*	ソフト	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計				
原野谷						③					3		1		1
桜が丘	⑤	1					③				9	1	1	1	2
掛川北						1					1			1	11
掛川西		③	3								6		2		1
掛川東			2	1		①					4			3	8
栄川											0				12
城東											0				12
大浜		⑤		⑤				③			13	3		3	1
大須賀											0				12
常葉菊川											0				12
菊川西			5	1		①		2			9	1	1	2	1
菊川東						1					1			1	10
岳洋	1	1				⑤					7	1		2	1
浜岡	①						⑤				6	1		1	5
御前崎	③			③							6		2		6

令和元年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞

種 目	該当校	選 出 理 由
男バレーボール	大須賀	今年度チームメンバーが6人集まらず、小笠総体に参加できなかった。しかし、1日目には小笠地区の選手の一員として、ラインジャッジや得点など積極的に審判員として活動していたため。
女バレーボール	大浜	どの学校も挨拶や返事など意識して活動していたが、特にさわやかで元気の良い挨拶が常にできていた。また、他チームの顧問やコーチに目を配り、扉を開けたりネットをあげて通路を作ったりするなどの気遣いを常に意識していた。プレーでも一生懸命大きな声で最後まで諦めずにチーム一丸となって戦っていたため。
男卓球	岳洋	試合中の仲間を応援する態度や試合相手への礼儀・マナー、準備・片付けでの貢献に優れていたため。
女卓球	掛川西	
柔道	該当なし	浜岡中柔道部で準備片付けを行ったが、グッドマナー賞には当たらないと思うので該当なしとした。
陸上競技	該当なし	どの学校も競技や応援など一生懸命取り組んでいましたが、特に突出した学校はありませんでした。
男バスケットボール	掛川西	さわやかな挨拶がきちんとできている。対戦相手への礼儀正しさや試合中のマナー、態度が清々しかった。また、決勝戦の前の椅子並べや試合後の片付けなどを率先して行っており、審判へのマナーや TO をしているときの態度も素晴らしいため。
女バスケットボール	掛川東	目を見て礼儀正しい挨拶や試合後のさわやかな挨拶など、明るく良い雰囲気が伝わってきた。控え室を最後に隅々まで掃除していたり、怪我をした他校に氷を持っていったりするなど、試合以外での礼儀、試合中のマナーなど、他校の模範となるものであったため。
サッカー	該当なし	どのチームも会場でのマナーや礼儀など、きちんとしていた。チームとしてだけでなく、個人でも、先生方や関係者に対する挨拶がしっかりとできており好感がもてた。どの学校もマナーがよく、特定の学校を選出することが難しいため。
ソフトボール	岳洋	返事、あいさつともに他校のお手本となるものだった。練習、練習試合においても熱心に取り組んでいたため。
野球	原野谷	大きな声でのあいさつ、試合の準備などきびきびとした行動、全力で前向きなプレーを少ない人数ではあるが全員が取り組み、野球の技術向上にもつなげていたことが大変すばらしかったため。
男テニス	掛川東	団体・個人と微妙な判定や審判が原因のノーカウントとなるプレーがいくつかあったにも関わらず、不平・不満を言わず競技に集中して取り組んでいました。また、その後も審判に対して文句を言う姿も見られなかった。
女テニス	該当なし	どの学校も挨拶、会場使用、観戦態度において、マナーが良く甲乙が付けがたいため該当校なしとする。
剣道	岳洋	試合態度、挨拶、所作、応援の態度において、他の生徒の模範となった。男子は気迫ある試合展開で、優勝の大須賀中をあと一歩のところまで追い詰めた。どの大会においてもハキハキとした返事、気持ちの良い明るい挨拶、チームとしてのまとまりがあり、小笠全体を常に引っ張ってきたため。
水泳	掛川西	掛西中・掛東中の両校とも他校の応援が気持ちよくできていたが、掛西中は、会場準備、当日の駐車場案内等もとてもしっかりやっていたため。

令和元年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 1

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞	
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問	左記以外で生徒奨 励賞受賞者の顧問
男バレーボール	桜が丘 県 準優勝 東海 出場				大浜 岡本健志	
女バレーボール	浜岡 県 3位 東海 出場			桜が丘 田中あおい	桜が丘 田中あおい	
	御前崎 県 5位					浜岡 玉村 駿
男卓球					岳洋 前川恭佑	
女卓球					大浜 池ヶ谷将彦	
男柔道	杉浦崇人 (栄川) 90kg級 県 5位					
女柔道	岡本悠生 (大浜) 44kg級 県 5位					
陸上(男)	高木大門 (菊川西) 3年100m 西部 3位 11.28 県 8位 11.30 東海 出場 全国 出場 11.61			菊川西 小林大晃	菊川西 小林大晃	
	高木大門・宇田要輝・小田颯馬・西澤梓希 (菊川西) 共通4×100mR 県 2位 43.27 東海 1位 43.07					
	植田航生 (浜岡) 共通800m 西部 3位 2:04.02 県 4位 2:04.15 3年1500m 西部 3位 4:12.43 県 9位 4:08.62 東海 出場 4:14.72					浜岡 小野芳彦
	平尾拓煌 (掛川北) 1年1500m 西部 1位 4:35.51 県 4位 4:21.16 東海 5位 4:27.11					掛川北 棚葉俊
	秋鹿雅史 (菊川東) 共通800m 県 5位 2:04.21 東海 出場 2:04.05					菊川東 鈴木達
	杉山礼 (掛川西) 1年100m 県 5位 12.29 東海 出場					掛川西 篠崎光
	松浦新太・服部凌也・杉山礼・倉繁穎 (掛川西) 低学年4×100mR 県 6位 48.27 東海 出場					
陸上(女)	八木歩乃花 (菊川西) 共通砲丸投 県 8位 10m76					
	匂坂美菜 (菊川西) 共通100mH 西部 3位 15.92 県 5位 14.88 東海 出場			菊川西 小林大晃	菊川西 小林大晃	

令和元年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 2

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞					顧問功労賞	
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問	左記以外で生徒奨 励賞受賞者の顧問	
陸上(女)	片桐明星 (浜岡)						
	1年100m 西部 3位	13.02				浜岡 小野芳彦	
	県 5位	13.17					
	東海 6位	13.16					
	松浦乃菜 (掛川北)					掛川北 榎葉俊	
	4種競技 県 7位	2095点					
	鈴木那歩 (掛川東)						
	共通砲丸投 西部 2位	10m77				掛川東 鴻野勇希	
	木村美結 (掛川西)						
	2年100m 西部 1位	12.66					
男バスケ	県 1位	12.42				掛川西 篠崎光	
	東海 1位	12.49					
	全国 出場	12.74					
女バスケ					浜岡 貝嶋達也		
サッカー					大浜 横山龍士		
ソフト	掛川東 県 5位				岳洋 青嶋翔太	掛川東 青島直道	
野球	岳洋 県 3位	中日本大会出場				岳洋 油井和哉	
	大浜 県 5位					大浜 八木秀樹	
	浜岡 県 5位					浜岡 杉山優	
男テニス	菊川西 団体戦 県 準優勝						
	団体戦 東海 出場						
	杉山浩登・内野留万 (菊川西) 県 2位				菊川西 森下尚	菊川西 森下尚	
	東海 出場						
	佐藤遙斗・松下峻太郎 (菊川西) 県 5位						
女テニス	東海 出場						
					浜岡 伊達千尋		
バドミントン	村松 壱華 (常葉菊川) シングルス 県 3位					常葉菊川 渡邊友也	
	東海 出場						
男剣道	大石聖也 個人戦 県 5位						
	東海 出場					大須賀 岡本裕之	
	早間良矢 個人戦 県 5位						
	東海 出場						
女剣道					大浜 高橋季実子		
水泳(男)					掛川西 海瀬俊弥		
水泳(女)	谷川舞香 (掛川北) 女子400m個人メドレー 西部 3位 5:23.40				掛川西 海瀬俊弥	掛川西 海瀬俊弥	

令和元年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果

南部大会

種 目	男 子			女 子		
	優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1 バレー	大 浜	***	***	御前崎	大 浜	岳 洋
2 卓 球	菊川西	岳 洋	城 東	岳 洋	菊川西	浜 岡
4 バスケ	御前崎	菊川西	菊川東	菊川西	大 浜	御前崎
5 サッカー	浜 岡	御前崎	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	菊川西	岳 洋	浜 岡
7 野 球	岳 洋	御前崎	大須賀 大 浜	***	***	***
8 ソフトテニス	岳 洋	菊川西	浜 岡	浜 岡	城 東	菊川西

北部大会

種 目	男 子			女 子		
	優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1 バレー	掛川東	***	***	桜が丘	栄 川	原野谷
2 卓 球	桜が丘	掛川西	掛川北	掛川西	桜が丘	掛川東
4 バスケ	掛川東	掛川北	原野谷	掛川東	桜が丘	***
5 サッカー	桜が丘	掛川北	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	原野谷	桜が丘	***
7 野 球	桜が丘	掛川西	掛川東 原野谷	***	***	***
8 ソフトテニス	掛川西	掛川北	掛川東	桜が丘	掛川西	掛川北

南北同時開催

種 目	男 子			女 子		
	優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1 陸 上	掛川西	菊川西	浜 岡	掛川西	掛川東	菊川東
2 剣 道	大 浜	菊川西	岳 洋	菊川西	***	***
3 水 泳	掛川西	***	***	掛川西	***	***

バレー ボール

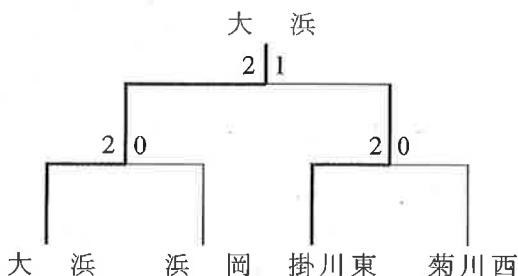
総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

A	大浜	掛東	掛西	順位
大浜		2-0	2-0	1
掛東	0-2		2-0	2
掛西	0-2	0-2		3

B	菊西	浜岡	掛北	順位
菊西		2-1	2-0	1
浜岡	1-2		2-0	2
掛北	0-2	0-2		3

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 大浜 準優勝 掛川東 3位 浜岡、菊川西

大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

優勝した大浜中は、新人戦から攻守にわたり安定した実力を見せ、6月には県選手権に出場するなど、小笠のバレーを牽引した。市川と大倉のダブルサウスポーによるライト攻撃は大浜バレーの代名詞となり、苦しい状況を開拓する原動力となった。

準優勝した掛川東中は、エース弓桁を中心に攻撃を展開するバレーで対抗した。レフト方向への鋭い速攻も攻撃力を増したこと、弓桁への負担を軽減し、大会を通して質の高いチームプレーを展開した。

大会を通してどのチームにも、チームの「柱」となる選手がおり、その選手を中心にチームを創り上げることができた。バレー ボールはそういう選手の活躍に依存してしまいかつであるが、今年の小笠はエース以外のアタッカーの成長や、セッターのゲームメイク力の向上でエースの負担を減らし、試合を通して全員で勝利を目指す姿が随所で見られた。バレー ボールにおける、チームプレーの本質を見ることができた大会となった。

優勝作文

掛川市立大浜中学校 柴田 樹人

僕たちが中体連に向けて頑張ってきたことは、基礎を固めることです。アンダーやオーバーをしっかりとすることで、様々な攻撃をすることができるようになりました。

僕はバレー部の練習を通して、周りの人たちへのありがたみを感じることができました。共に頑張っている仲間だけでなく、送迎や応援をしてくれた保護者、指導してくださった先生方、多くの人達に支えられ、とても良い環境でバレー ボールをすることことができました。周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、県大会で頑張りたいです。

総合体育大会（女子）

予選リーグ

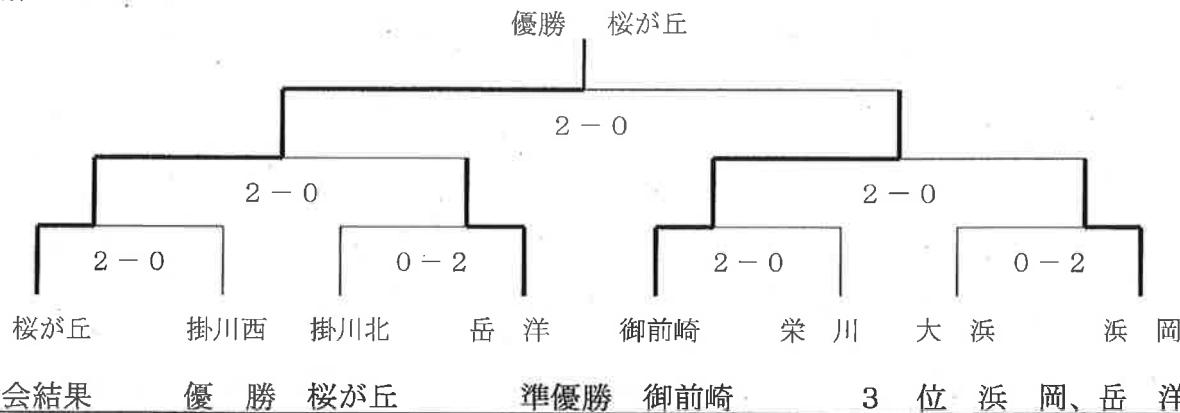
Aリーグ	桜が丘	掛川東	大浜
桜が丘		2-0	2-0
掛川東	0-2		0-2
大浜	0-2	2-0	

リーグ	御前崎	掛川北	菊川西	原野谷
御前崎		2-0	2-0	2-0
掛川北	0-2		2-0	2-0
菊川西	0-2	0-2		2-0
原野谷	0-2	0-2	0-2	

Bリーグ	浜岡	菊川東	掛川西
浜岡		2-0	2-0
菊川東	0-2		0-2
掛川西	0-2	2-0	

Dリーグ	岳 洋	栄 川	大須賀	城 東
岳 洋		2 - 1	2 - 0	2 - 0
栄 川	1 - 2		2 - 0	2 - 0
大須賀	0 - 2	0 - 2		2 - 1
城 東	0 - 2	0 - 2	1 - 2	

決勝トーナメント



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 御前崎 3位 浜岡、岳洋

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 松下 裕伸

東海新人に出場した桜が丘中と御前崎中を筆頭にレベルの高い戦いが繰り広げられた。大会1日目は巧みなコンビバレーを繰り広げる桜が丘中と、頼れるエースが力強くオーポンツスを打ちきる浜岡中、サーブ・サーブカットに安定感があり粘り強い御前崎中、レシーブ力が非常に高くエースに繋ぐバレーをみせる岳洋中が各リーグを1位で通過し、2日目に駒を進めた。県大会出場をかけた準決勝の桜が丘中対岳洋中では、先にリードした桜が丘中がそのまま1セット目を奪った。2セット目は、両チームの選手が足をつるアクシデントがありながら、総合的な強さを見せた桜が丘中が県大会への切符を掴んだ。もう一方の御前崎中対浜岡中は、両チームともミスをしない安定したバレーで1点ずつゲームを進めた。互いに粘りながら1セット目のデュースを制したのは御前崎中だった。2セット目は浜岡中リードでゲームが進んだが、セット中盤で御前崎中のエースのサーブが勢い付き2セット目も連取した。決勝戦では、選手の疲労もピークを迎えようとしている中、「勝ちたい」という強い想いがぶつけられた試合が展開された。桜が丘中、御前崎中共に安定したバレーを見せ、ミスを最小限に減らした戦いで1点ずつゲームを進めたが、終盤には高さのある桜が丘中のセンター攻撃が鍵となり、桜が丘中が小笠を制した。3位決定戦も熱い戦いが見られ、フルセットの接戦の末、浜岡中が最後の県大会出場枠を手に入れた。県大会に出場する3チームには、県大会、またその先の大会まで小笠の誇りを胸に堂々と戦ってきてもらいたい。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 森澤 世莉

中体連はいつもの大会とは違い、負けたら中学校生活での部活動が終わってしまう。この小笠地区は激戦区でどの試合も白熱した試合だった。

『小笠制覇』チーム全員でこの目標に向かって練習してきた。私は今までの試合や練習試合で多くのことを学んできた。キャプテンとしてチームをまとめること、どんなに苦しいときでも自分から声を出すこと、誰が点を取っても自分が一番喜ぶことがとても大事であるということを。気づき、学んできたことを生かして、決勝戦では自分達のいつものバレーができ、1つの目標が達成できた。

しかし、ここでゴールではない。『県制覇』『東海制覇』『全国出場』まだまだ私たちの夏は終わらない。少しでも長くこのメンバーでバレーをし続けたい。

新人総合体育大会（北部男子）

リーグ戦

	掛川東	掛川西	掛川北	順位
掛川東		2 - 0	2 - 0	1
掛川西	0 - 2		2 - 0	2
掛川北	0 - 2	0 - 2		3

大会結果 優勝 掛川東

大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

北部は、掛川市立東中学校が三連覇を達成した。昨年、一昨年に比べて攻撃力はやや劣るもの、レシーブ力に優れ、ミスが少なく安定した試合運びで勝利を手にした。中心となつてゲームを牽引したのはセッターで、昨年までの経験を生かしてどのようなレシーブボールもスパイクに結びつけるボールコントロールには目を見張るものがあった。

バレーボールにおいて、「司令塔」と表現されるのがセッターである。チームレベルが上がるほど、セッターに求められることは増えていく。基本のパス技術だけでなく、レシーブ力も高いものが要求されるセッターの育成も、小笠地区の男子バレーの課題の一つである。

バレーボールだけでなく、スポーツにおいても基本技術の習得に必要なことは「反復練習」である。競技力の向上には不可欠な要素であり、精神面の鍛錬としても重宝されてきたが、昨年度より実施となった「部活動ガイドライン」によって、活動時間が見直され、従来の練習内容や指導方法では技術の習得が困難なったと感じている。時代や社会の変化の中で、求められる人間像に応じた指導を部活動でも行っていくことが必要である。これまで通りの活動が不可能であるなら、より効率的な練習方法を模索していくべきであり、そのための努力や柔軟な変化は、指導者だけでなく、選手にも求められていると考える。技術の向上、心身の成長を促す建設的な指導と、自ら課題をもち、自身やチーム向上に向けて主体的に取り組む選手の姿勢を大切にして、小笠バレーの更なる発展に繋げていきたい。

優勝作文

掛川市立東中学校 杉山 凜太郎

僕たち男子バレー部では、新チーム発足後、初の公式戦である新人戦で、北部3連覇を目指し努力してきました。

練習では、「正しく、正確に、力強く」を目標とし、まずは「正しく」を意識して練習に取り組みました。ボールを取る姿勢や、正しいスパイクのステップやフォームなど、基礎が身につくように練習しました。また、レシーブのフォーム改善のためにバケツを使つたりして、練習を工夫しました。技能面だけでなく、一人一人が大きな声を出すようにして、チーム内でコミュニケーションをとることも意識していました。

大会当日、初の公式戦で、ものすごく緊張しましたが、練習の成果を發揮することができ、優勝することができました。しかし、課題も多いので、これからも練習に励み、小笠の代表として認めてもらえるようなチームになっていきたいです。そして、夏の大会では、県大会でも活躍できるチームになっていきたいです。

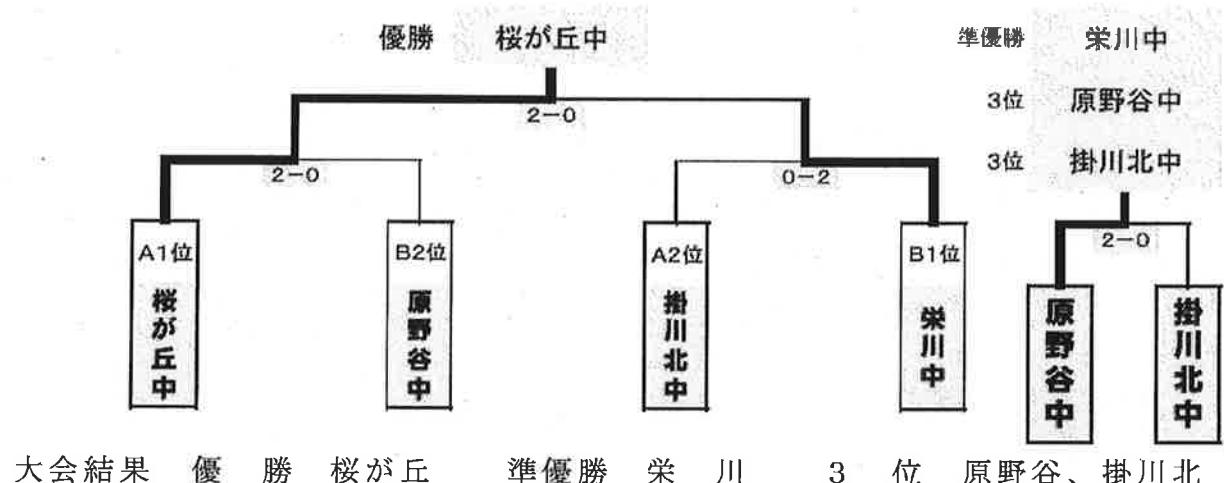
新人総合体育大会（北部女子）

【予選リーグ】

Aリーグ	①	②	③	順位
① 桜が丘中	X	O	O	1位
② 掛川北中	X	X	O	2位
③ 掛川東中	X	X	X	3位

Bリーグ	①	②	③	順位
① 栄川中	X	O	O	1位
② 原野谷中	X	X	O	2位
③ 掛川西中	X	X	X	3位

【決勝トーナメント】



大会寸評

掛川市立西中学校 中山 航

北部地区では、各チームの関係者のおかげで、どのチームもマナーが良く速やかな試合進行でゲームがすすんだ。

決勝戦の桜が丘中対栄川中では、安定したサーブと、粘り強いレシーブを武器に他を寄せ付けない強さを見せた桜が丘中が、見事2年連続の優勝を勝ち取った。しかし、どのチームもチームカラーが出来つつあり、今後の取り組み次第ではかなりのレベルアップが望めると思われる。今後は、それぞれのチームがお互いを高め合い県大会やそれより上の大会で活躍していってくれることを期待する。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 西尾 葵

私たち桜が丘中バレー部は、新人戦の北部大会で優勝することができました。ほかのチームより新チームになってからの期間も短く、夏に体力作りをすることも十分にできませんでした。しかし、自分たちの持ち味であるサーブで相手を崩し、自分たちの攻撃で勝ちきることができ、とても嬉しかったです。でも、まだまだレシーブ力が足りません。夏の総体では力を出し切って笑って終われるように、今できていないところをしっかりと修正し挑んでいきます。そのために日々の練習で努力していき、感謝を忘れず、チームで頑張っていきたいと思います。

新人総合体育大会（南部男子）

リーグ戦

	大 浜	浜 岡	菊川西	順位
大 浜		2 - 0	2 - 1	1
浜 岡	0 - 2		2 - 0	2
菊川西	1 - 2	0 - 2		3

大会結果 優勝 大浜

大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

南部では、掛川市立大浜中学校が昨年に引き続き2連覇を果たした。大浜中学校はエースのオープン攻撃を中心に試合を優位に進めた。新人戦では、サーブやサーブカットといったゲームの基本となるプレーの質が勝敗を大きく左右する。大浜中学校は、リベロを中心にして、安定したサーブカットで攻撃に繋げることができた。特にリベロの活躍は目を見張るものがあり、レシーブ範囲を広くとり、他の選手の分までボールを追いかけ、レシーブが乱れた時には、正確な2段トスでボールを繋ぎ、攻撃のチャンスを演出するした。

今後は、どのチームも体力が向上し、攻守にわたりプレーの幅が広がってくるので、基本となるサーブやパスの技術の質を高めていく必要がある。近年の静岡県の男子バレーは複雑なコンビネーションバレーよりも、オーソドックスなバレーを展開するチームが大会でも上位を占めている。小笠地区が県大会で活躍していくためにも、一つ一つのプレーの質を高め、力強さを身に付けている必要がある。南部のチームは体力がある生徒も多いので、基礎練習をより緻密に行っていくことでさらなる向上が期待できる。

小笠の男子バレーも小学校での経験がある選手も減少傾向にあり、中学校から運動を始める生徒が増えている。バレーボールに親しみ、部活動を通して心身の成長を促す意味でも、中学校では基本となる技術をきちんと定着させ、生涯に渡ってバレーボールと付き合っていくける人間を育てたいと考える。

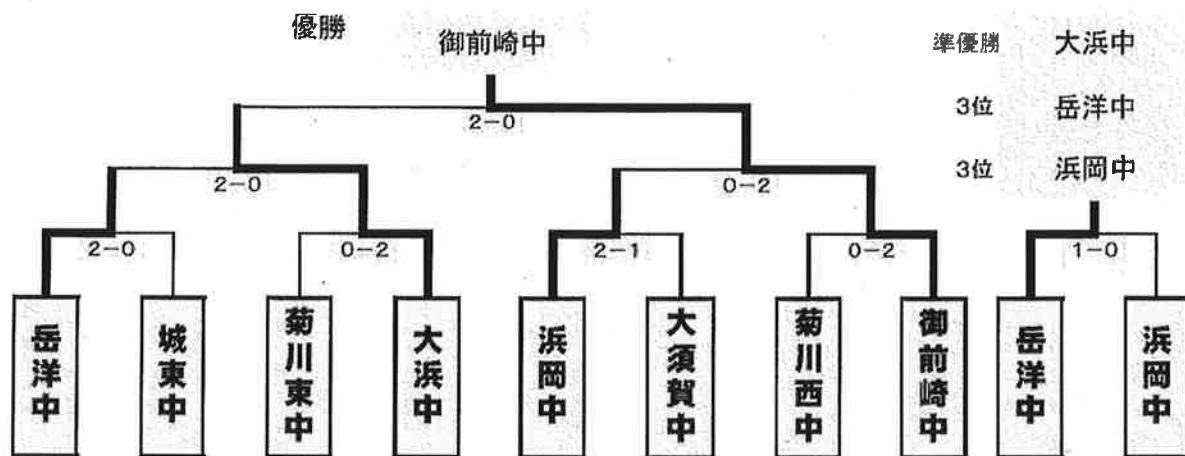
優勝作文

掛川市立大浜中学校 川島 鳩人

僕たちは新人戦で優勝することができました。これまで特にコミュニケーションを意識した練習に力を入れてきました。練習中はもちろんのこと、普段の生活から相手を思いやり、気にかけることでプレーの向上を目指してきました。今後も継続していくことで練習の質も上がり、試合でもいいプレーが増えると思います。

今回の結果に満足することなく、小笠総体に向けて練習の質を高め、大浜中のチーム力を高めていきたいです。

新人総合体育大会（南部女子）



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 大浜 3位 岳洋、浜岡

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 松下 裕伸

南部地区では、初めての公式戦を迎える緊張感漂う雰囲気と、これまで練習してきた成果を試す期待が入り交じった中で、小笠新人総体が幕を開けた。

各コート1回戦から、大きな声でプレーをしているチームが多く、あきらめずにボールを追う姿勢が頻繁に見られた。しかし、速く鋭いサーブに対してレセプションが乱れたり、サーブを連續してコートに入れられなかつたりするチームが多く、メンタル面で沈んでしまう選手も目立った。その中でも、安定したレシーブとミスの少なさで勝ち抜いた御前崎中と大浜中が決勝の舞台に進出した。御前崎中は安定したサーブ・レシーブからライト攻撃を軸に試合を進めた。対する大浜中は、レフトエースを軸に力強いスパイクやバックアタックをしっかりと決め、点数を積み上げていった。接戦の末、総合力で安定を見せた御前崎中が優勝した。

今大会により、各チーム多くの課題が見えた。次は西部新人大会、県新人大会、東海新人大会と続くので、小笠地区から多くのチームが登場できるように心技体を鍛えてもらいたい。

優勝作文

学校組合立御前崎中学校 栗林 穂佳

私たち御中バレー部は、新人戦に向けて、サーブ・レシーブの強化をしてきました。練習の中でも「ナイスサーブ」など、たくさんの声が聞こえてきました。そして、迎えた大会当日、試合の中でもどこが悪いかをお互いに話をして、粘り強いプレーをすることを心掛け、優勝することができました。

そして、課題も見つかりました。私たちのチームは攻撃力が低く、コンビもまだ多くありません。エースに頼ってしまったり、終盤に疲れてチャンスボールになってしまったりします。今回、見つけることができた課題にしっかりと向き合いながら、夏の大会に向かってチーム全員で頑張っていきたいです。

卓 球

総合体育大会

大会結果

【個人戦】

〈男子〉

優 勝	杉浦龍神(掛川東)	準優勝	花村俊輔(掛川西)	3 位	山田晋大朗(掛川西)
4 位	北川慶太(岳 洋)	5 位	高塚陽向(掛川東)	6 位	小池裕真(岳 洋)

〈女子〉

優 勝	萩原響子(桜が丘)	準優勝	石井萌花(大 浜)	3 位	グント・イマヨミ(大 浜)
4 位	藤江真央(掛川西)	5 位	石井柚羽(岳 洋)	6 位	名波季里(大 浜)

【団体戦】

〈男子〉

優 勝	岳 洋	準優勝	掛川西	3 位	桜が丘、御前崎
-----	-----	-----	-----	-----	---------

〈女子〉

優 勝	大 浜	準優勝	掛川西	3 位	桜が丘、岳 洋
-----	-----	-----	-----	-----	---------

大会寸評

掛川市立北中学校 岡田 圭介

女子団体では、決勝で大浜中が掛川西中との接戦を制した。両チームとも技術だけでなく仲間を応援する姿勢が素晴らしい、チーム力の大切さを痛感させられた。

男子団体では、入賞チーム以外にも優勝を狙うだけの戦力を備えるチームが多かったがその中でも様々な戦型の選手を揃え、粘りのプレイを見せた岳洋中が優勝し、県大会出場となつた。

男子個人では、2年生の健闘が見られ、準優勝、3位、4位と3人が入賞した。第1シード花村と第2シード杉浦の力は拮抗していたが、杉浦が3対1で勝利し3年生の意地を見せた。

女子個人では、萩原が第1シード石井との決勝をフルセットで勝利した。上位選手は低い弾道の攻めの卓球が見られ小笠地区の競技力の向上を感じた。

優勝作文（男子）

菊川市立岳洋中学校 山田 光希

岳洋中男子卓球部のチームテーマは、「平常心・不動心」、「つなぐ」です。心を落ち着かせ、常に焦らず冷静にプレーするために、1球1球をつなぐ意識で、仲間との輪をつなぐことができるよう、このテーマにしました。このテーマを達成するために、卓球のプレー面だけではなく、積極的なあいさつや、マナー、礼儀などの生活面を常に意識してきました。また、中体連優勝を目指し、練習量は小笠1番を目標にして頑張ってきました。このような練習をしてきたからこそ、中体連小笠地区大会で優勝という、チームにとっても、個人にとってもかけがえのない、一生思い出に残る結果を残すことができました。結果以上に、共に練習した仲間との絆が深まりました。楽しく、厳しい練習を乗り越えてきた仲間は一生の宝物です。そして、岳洋中男子卓球部がここまで強くなれたのは、先生、仲間、家族などたくさんの方々に支えられてきたからです。それらの方々に感謝の気持ちをもち、この優勝という素晴らしい経験を自分達の将来につないでいきたいです。

優勝作文（女子）

掛川市立大浜中学校 名波 季里

私たちの学年には、部員が6人しかいないので、団体戦には代わりの3年生がいません。1人でも怪我や病気で出られなくなってしまったら、下級生が出ることになります。そのため私たちは、日頃から「自分の代わりはない」という意識をもちらんながら練習をしてきました。小笠総体の団体戦で優勝するためには、少なくとも6試合を勝ち抜かなければなりません。本当に勝ち続けられるのか、負けたら引退するんだ…大会が近づくにつれて、不安が大きくなりました。その不安に打ち勝つために、暑さに負けず、気を抜かずに練習を行い、常にベストな試合ができるように努力しました。特に練習試合では、1日で10試合以上をこなすことを心掛けました。大会当日は、本当に苦しい試合が続きました。しかし、これまでの練習や試合で得た経験、仲間や家族の応援などが支えとなつて優勝することができました。仲間や先生方、家族への感謝を忘れずに、目標の県ベスト8に入れるよう県大会も戦いたいと思います。

新人総合体育大会

大会結果

【個人戦】

- 〈南部男子2年〉①北川(岳洋)②松村(菊川西)③田中(菊川西)④小杉(御前崎)
〈南部男子1年〉①山本(城東)②藤田(城東)③鈴田(城東)④小鹿(大須賀)
〈南部女子2年〉①石井(岳洋)②坂井(岳洋)③横山(菊川西)④松下(岳洋)
〈南部女子1年〉①小濱(岳洋)②松下(岳洋)③梶山(岳洋)④富田(大浜)
〈北部男子2年〉①花村(掛川西)②山田(掛川西)③鈴木(掛川西)④伊藤(桜が丘)
〈北部男子1年〉①渥美(掛川西)②小松(掛川東)③中山(掛川北)④本田(掛川東)
〈北部女子2年〉①内田(掛川西)②香月(掛川西)③海野(掛川西)④山本(掛川西)
〈北部女子1年〉①中沢(掛川西)②栗田(掛川西)③田辺(掛川北)④山下(掛川北)

【団体戦】

- | | | | | | | |
|--------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 〈南部男子〉 | 優勝 | 菊川西 | 準優勝 | 岳洋 | 3位 | 城東 |
| 〈南部女子〉 | 優勝 | 岳洋 | 準優勝 | 菊川西 | 3位 | 浜岡 |
| 〈北部男子〉 | 優勝 | 桜が丘 | 準優勝 | 掛川西 | 3位 | 掛川北 |
| 〈北部女子〉 | 優勝 | 掛川西 | 準優勝 | 桜が丘 | 3位 | 掛川東 |

大会寸評

掛川市立北中学校 岡田 圭介

本年度も例年通り、南北男女団体、南北男女学年別個人の計12種目を1日で行うハーフスケジュールで大会を行った。各学校の顧問の先生方には、準備から御協力いただき、スムーズな大会運営となった。

本年度の大会では、個人戦では北部の掛川西中が男女とも例年通りの安定した強さを見せ上位を独占した。マナー面や練習方法が先輩から後輩に着実に受け継がれている結果であると感じた。団体戦では南北共に3-2のフルゲームの試合が多く、4, 5番手の結果が勝敗を分けることも多かった。エース同士の力関係だけでなくチームとしての総合力が大きく試される展開となった。特にダブルスの強化が来年度の総体までの各チームの課題になると思われる。今後も入部初期の基礎固め、練習時間の確保、チームとして高め合う雰囲気作りが必要であると感じた。

優勝作文（南部男子）

菊川市立菊川西中学校 戸塚 秀

新チームとなり、新しい活動が始まりました。年度当初は練習の雰囲気も緩く、あまり良い練習はしているとは言えませんでした。しかし、僕たちには自慢できることがあります。それは、「チームワーク」です。菊西の卓球部は全員の仲が良く、団結力がありました。総合力の大切な団体戦で優勝できた理由はそこであると考えています。

しかし、今のチームは、礼儀を守れていなかつたり、応援が小さかつたり、応援していない人もいて、チームとしてのまとまりが少し欠けているところがあります。仲間のために声を出す、あいさつをすることを基本とし、再び”全員”で優勝を勝ち取ることができるようにして、日々の練習でお互いを高め合っていきたいです。

優勝作文（南部女子）

菊川市立岳洋中学校 石井 柚羽

新チームになってからの私たちの目標は「小笠掛川地区優勝」でした。しかし、今までは練習メニューもきちんと決まっておらず、個人で練習する日がたくさんありました。新チームになってからは、私たちの代から岳洋女子卓球部を変えていこうと、練習メニューを考えたり、部員同士の会話を増やしたりして練習に励んできました。

新人戦当日、私たちは練習の成果を発揮し、絶対に優勝するという思いをもって試合に臨みました。きっと、その思いがチームの団結力を高め、優勝することができたのだと思います。

しかし、今のこのチームには課題がたくさんあります。それは、移動が遅かったり、返事の声が小さかったり、まとまりがあまりないことです。それをきちんと改善し、試合や気持ちで負けないチームを部員全員でつくっていきます。

優勝作文（北部男子）

掛川市立桜が丘中学校 伊藤 裕人

卓球未経験だった僕たちは、「もっと上手になりたい」という思いから日々の練習を一生懸命取り組んできました。新チームになり、来年の夏の大会に向けてまずは、この新人戦で団体一位を獲る目標を立てました。この目標を達成するために、短い時間でも集中して練習に取り組むこと、仲間とお互いにアドバイスをし合うことを意識してきました。そして、新人戦が近づくにつれて一人ひとりの絶対に勝ちたいという思いが強まり、緊張感をもって活動をしてきました。

新人戦当日では、辛い時こそ声を出すことを心がけ、全力で試合に臨みました。長時間にもつれる試合もありましたが、最後まで集中力を切らさずに自分たちのプレーをすることができました。

すべての練習は来年の夏に繋がっていくものだと思い、日々の練習の積み重ねの大切さを感じています。「努力は裏切らない」という言葉を信じ、悔いの残らないよう仲間たちと成長していきます。

優勝作文（北部女子）

掛川市立西中学校 内田 真桜

新人戦に向けて一番重要な夏休みの練習。今まで部活動をリードしてくださった先輩方が引退し、自分達が中心となって頑張る番。しかし、なかなかスイッチを入れることができず、せっかくの練習時間を無駄にしてばかりいました。また、西中の強みである応援の声も小さくなるばかり…。

このままではいけないと思い、九月から気持ちを入れ替えて練習を始めました。

新人戦当日は、フロアと応援席が団結し、戦えたと思います。また、大きな声で応援もできました。部員の心が一つになって取れた新人戦優勝だと思います。まだまだ課題はたくさんありますが、西中の強みである応援と団結力をさらに伸ばし、もっと強くなっているように、チーム一丸となって切磋琢磨していきたいと思います。

柔道

総合体育大会

大会結果

団体戦（男子） 優勝 大浜 準優勝 菊川西

団体戦（女子） 大浜（参加1チームのため県大会出場）

個人戦（男子）

50キロ以下級	1位 佐藤 亮祐 (大浜)	2位 鈴木 晴嵐 (大浜)
55キロ級	1位 梅津 龍成 (掛川東)	2位 伊藤 義晃 (大浜)
60キロ級	1位 佐藤 仁 (大浜)	2位 伊東 陵功 (菊川東)
66キロ級	1位 岩倉 匠聰 (大浜)	2位 嘉地 蓮 (掛川北)
73キロ級	1位 牧野 航真 (浜岡)	2位 伊東 稔記 (菊川西)
81キロ級	1位 永江 晴陽 (菊川西)	2位 堀川 奏生 (菊川西)
90キロ級	激励賞 杉浦 崇人 (栄川)	
90キロ超級	激励賞 佐野 啓太 (浜岡)	

個人戦（女子）

40キロ級	激励賞 佐藤 舞花 (大浜)	
44キロ級	1位 岡本 悠生 (大浜)	2位 河野 りさ (大浜)
48キロ級	激励賞 後藤 麗 (浜岡)	
52キロ級	激励賞 平野 葵 (掛川東)	

※各階級1位が県大会出場

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 水嶋 志展

本年度夏季大会は、6月29日浜岡中学校格技場で行われた。開場前から選手、保護者の方々が来校し、大会前からこの大会にかける選手や保護者の方々の思いが伝わってくるようだった。柔道未経験の先生方を各地区道場の先生方がサポートしてくれたおかげで計量、試合場準備などスムーズに終え、大会を開催することができた。結果は、昨年1年生ながら数々の大会で力をつけてきた大浜中が自力を見せ、団体戦男子優勝、個人戦でも男子3名、女子2名を県大会へ送り出す形となつた。

試合終了後、県大会へ向けて小笠地区一丸となって向かうための合同稽古会を行ったが、大いに盛り上がり、気持ちを高めることができたため、今後も開催していきたい。

優勝作文

掛川市立大浜中学校 伊藤 義晃

大浜中学校に柔道部はありませんが、僕たちは柔道競技の大浜中学校代表として「中体連優勝」に向けて努力をしてきました。僕が所属しているクラブでは、普段部活動をしているみんなと比べて人数も少なく、練習する時間も短いという環境でしたが、逆にそんな環境であったからこそ何事にも諦めず努力することができたのではないかと思います。もちろん優勝の背景には熱心に指導してくださった先生やコーチ、日々の練習環境を作ってくださった保護者の皆様がいてくれた結果であります。そして、大会に出場した仲間たちの最後まで諦めなかつた「強い気持ち」の繋がりであります。今回、大浜中学校の代表として「優勝」することができて本当に良かったと思いました。

陸上競技

総合体育大会

大会結果	【総 合】	優 勝 菊川西	準優勝 掛川西	3 位 浜 岡
	【男 子】	優 勝 菊川西	準優勝 掛川西	3 位 浜 岡
	【女 子】	優 勝 菊川西	準優勝 掛川西	3 位 掛川東

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 鈴木 達

令和元年度小笠地区中学校陸上競技大会は、7月29日に浜岡総合運動場陸上競技場で開催されました。本大会には、全国、東海大会出場を決めた男子3年100mの高木大門選手（菊川西中3年）、女子2年100mの木村美結選手（掛川西中2年）、東海大会出場を決めた男子3年1500mの植田航生選手（浜岡中3年）、男子共通800mの秋鹿雅史選手（菊川東中3年）、男子1年100mの杉山礼選手（掛川西中1年）、男子1年1500mの平尾拓煌選手（掛川北中1年）、女子共通100mHの匂坂美菜選手（菊川西中3年）、女子1年100mの片桐明星選手（浜岡中1年）、男子共通4×100mRの菊川西中、男子低学年4×100mRの掛川西中と県大会等で活躍した多くの選手が出場しました。また、本大会では男子3年1500mで植田航生選手（浜岡中3年）が4分13秒97、男子共通4×100mRで菊川西中が44秒28と大会新記録を樹立する活躍も見られました。

運営面に関しては、何年かぶりに会場が浜岡総合運動場陸上競技場になったことで例年以上に教職員及び陸上競技協会の方々に審判員として御協力していただきました。また、補助役員として池新田高校、小笠高校、常葉大菊川高校の生徒にも御協力していただき、大会運営に貢献していただきました。課題としては、熱中症対策でテントや給水所の設置等をしましたが、テントの数を増やすことや設置する場所を再考し、次大会に向けて改善していくたいと思います。

成績としては、総合の部では、各種目全般的に得点を集めた菊川西中が優勝、男女共にトラック種目で多くの点数を集めた掛川西中が準優勝、男子の活躍が著しかった浜岡中が3位でした。男子の部では、優勝が菊川西中、準優勝が掛川西中、3位が浜岡中でした。女子の部では、優勝が菊川西中、準優勝が掛川西中、3位が掛川東中でした。入賞した学校だけでなく、各学校とも率先して準備や片付けを行い、全力で競技をする姿や仲間を応援する姿が見られ、大変素晴らしいものでした。

最後に、本大会がスムーズに運営できたのも、当初より計画や準備に携わってくださいました諸先生方の御尽力と、大会当日に御協力してくださった各校の諸先生方や陸上競技協会の方々のお陰であります。また、本年度も猛暑の中での大会でした。先生方や陸上競技協会の方々には、熱中症対策にも細心の注意を払っていただき感謝しています。ここに記して厚く御礼を申し上げます。

優勝作文（総合の部・男子の部）

菊川市立菊川西中学校 高木 大門

先輩達が築き上げてきた総合優勝四連覇。菊川西中陸上部の部長となり、五連覇しなければならない、連覇を止めてはいけないと責任を感じていました。昨年の中体連では、総合優勝したものの男子の部で優勝を逃し、男女アベック優勝を取ることができませんでした。新チームとなり、中体連の目標に掲げたのは「王座奪還、男女アベック優勝、総合五連覇」でした。この目標に向かって、冬季の辛い走り込みもチームで声をかけ合って頑張ってきました。シーズンに入る頃には、昨年男子の部で優勝を取れなかった悔しさからより一層練習への意識が高まり、チームが盛り上がっているを感じました。本番当日では、菊西中陸上部が得意とするトラック種目を中心に多くの点数を取り、フィールド種目でも多くの部員が入賞を果たしました。「この競技結果で総合優勝を取れるかどうか決まる」と顧問の先生から聞き、チーム一丸となって精一杯応援しました。そして、結果発表。男女アベック優勝を取ることができたとわかつて部長としての役目を果たすことができ、本当に嬉しく思っています。

優勝作文（女子の部）

菊川市立菊川西中学校 望月 あすか

「小笠総体総合優勝・アベック優勝」この目標を達成するまでには苦労したことがたくさんありました。私は副部長として練習をまとめ、指示を出さなければいけない立場でした。それなのに少しだらけた雰囲気になっても後輩達を注意することができますませんでした。先生に言われてから動くといった練習をしていたことを直そうと思い、声を出すことやあいさつをすることなどを伝えていった結果、練習中の応援が自然と増えていき、雰囲気が良くなっていくのを感じました。部全体が生き生きとして目標達成が近づいた気がして嬉しかったです。当日はベンチに居られる人が少なかったけれど全力で応援できていて出場者が良い記録を出し、応援の力を感じることができました。結果は総合優勝・アベック優勝でした。目標を達成することができました。陸上の大会でこんなにドキドキし、喜んだのは初めてでした。有言実行できるチームとなれたことが嬉しかったです。来年も六連覇できるように頑張ってほしいです。

《男子》

小笠地区中学校陸上競技大会

2019年7月29日

浜岡陸上競技場

御前崎

浜

西

川

東

大

常

須

賀

川

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

谷

原

水

前

崎

浜

西

大

城

常

野

新人総合体育大会

大会結果	【男 子】優 勝 掛川西	準優勝 菊川西	3 位 浜 岡
	【女 子】優 勝 掛川西	準優勝 掛川東	3 位 菊川東

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 鈴木 達

令和元年度新人陸上競技大会は、9月28日（土）に、浜岡総合運動場陸上競技場で行われました。本大会は、陸上部顧問を中心に、小笠掛川陸上競技協会役員への協力を得て運営し、全種目予定通り進行することができました。本年度は熱中症対策として、男子共通3000mを1番最初に行い、選手の負担を軽減させるよう配慮しました。今後も大会運営の仕方を隨時見直し、より円滑な運営ができるように考えていくたいと思います。多くの支えもあり、無事大会を終えることができたことに誠に感謝します。御協力ありがとうございました。

団体の部の結果は、トラック種目を中心に総合的に力を発揮した掛川西中学校が男女アベック優勝を果たしました。また、本大会では4種目で大会新記録が誕生しました。男子1年100mで杉山礼さん（掛川西1年）が11秒84、田中健さん（岳洋1年）が11秒90、共通女子100mで木村美結さん（掛川西2年）が12秒64、共通女子200mで同じく木村美結さん（掛川西2年）が26秒67、女子1年100mで片桐明星さん（浜岡1年）が12秒92という素晴らしい記録を樹立しました。

来シーズン、小笠地区から多くの選手が西部大会を通過し、県大会や東海大会、そして全国大会への出場を果たせるように今後も競技力向上を目指します。

優勝作文（男子の部）

掛川市立西中学校 倉繁 碩

3年生が引退し、2年生主体の部活動となりました。僕は部長となり、日々の練習の声出しにより一層、力を入れました。1、2年生だけの部活動は、気が抜けている部分が多くありました。しかし、それを「注意する」というより「自分で気づかせる」という方法に変えてから、各々が意識するようになり、普段の練習の質が今まで以上に向上していました。また、大会が近づくにつれ、緊張感が増し、心が1つになっていくことを実感していました。

大会当日、朝のバス移動で緊張がほぐれ、みんな良い表情をしていました。おかげで無駄な力が抜け、全員が今できる最高のプレーができたと思います。

結果は、男女総合優勝をとることができました。普段の積み重ねがこの結果につながったのだと思います。この大会で得たことを普段の部活動で生かし、切磋琢磨して取り組んでいきたいと思います。そして、応援してくださった先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。

優勝作文（女子の部）

掛川市立西中学校 栗田 聖花

「みんなに応援してもらえる選手になろう」私たち掛川市立西中学校陸上競技部員は、顧問の篠崎先生、渡辺先生の指導の下、日々この言葉を合い言葉に練習に取り組んでいます。私は、8月から副部長になりました。目標である総合優勝するために、何をしたらいいのか、44名という部員の多さをどうまとめたら良いのか考えました。

まず初めに、一人ひとりの目標を立てました。そして、その目標に近づけるために基礎であるドリルを見直して練習に取り組むようにしました。また、大会の際には、仲間がレースをするときに必ずみんなで応援をしたり、タイムを取ったり、アップやダウンと一緒に行うなど、仲間と協力しました。自分が集中してレースを迎えることができるには、仲間が協力してくれているからです。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」そういうことで勝ち取ることができた小笠新人戦総合優勝だと思います。総合優勝はうれしいですが、まだ始まったばかりです。志を高く持ち、全員が自己ベスト更新のために努力し、夏の中体連小笠大会も優勝を目指したいと思います。

《子男》

תְּנַשֵּׁא בְּנֵי־בָּנָה וְבְנֵי־בָּנָה

遼寧醫學工程學院

種 目	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位		7 位		8 位		9 位		10 位			
	氏 名	學校 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	氏 名	記 録	
年 1 0 0 m	◎杉山 礼	滋川西	11.84	◎田中 錠	岳洋	11.95	池田 朱利	1 滝川北	12.62	小原 達	1 滝川西	12.71	保田 翟	1 滝川	13.06	野 井	1 滝川西	13.06	原 木	1 滝川西	13.06	
年 1 5 0 m	鹿野 叶和	滋川西	4.49.33	鈴木 駿海	1 滝川	4.51.85	瀬岡 渥太	2 滝川北	12.19	松井 重樹	2 滝川北	12.24	大須賀 龍助	2 滝川北	12.27	佐藤 徳	2 岳洋	12.33	山田 実喜	2 岳洋	12.35	
通 1 0 0 m	水野 審希	2 滝川	11.93	松井 重樹	2 滝川北	12.19	松本 慶志郎	2 大須賀 龍助	12.24	瀬川 渥太	2 滝川北	12.24	佐藤 徳	2 滝川北	12.27	佐藤 翔空	2 滝川北	12.33	松井 康樹	2 滝川北	12.35	
通 2 0 0 m	水野 審希	2 滝川	24.33	杉山 乳	1 滝川西	24.39	依浦 隆斗	2 滝川西	24.54	佐藤 翔空	2 滝川北	24.54	鈴木 駿海	2 滝川北	24.96	堀川 北	2 滝川東	24.97	堀川 東	2 滝川東	25.14	
通 4 0 0 m	松浦 駿斗	2 滝川西	0.57.42	瀬地 伸	2 滝川北	1.00.34	岡部 叶和	1 滝川西	1.00.54	岡村 圭祐	2 滝川	1.00.54	石川 弘志	2 滝川東	1.01.19	保本 純希	2 滝川東	1.01.66	保本 純希	2 滝川東	1.01.66	
通 8 0 0 m	疋田 純祐	2 滝川	2.13.89	池田 雄貴	2 滝川	2.14.61	御前崎 新成	2 滝川東	2.17.56	井指 勝	2 滝川西	2.18.63	瀬谷 陸	2 滝川東	2.19.68	船木 托馬	2 滝川	2.21.73	船木 托馬	2 滝川	2.21.73	
通 3 0 0 0 m	尾辺 新成	2 滝川東	9.55.22	落合 尊輝	2 滝川東	9.56.90	中村 匠政	2 滝川北	9.59.43	武田 怜佑	2 滝川	10.12.44	井指 勝	2 滝川	10.42.63	松下 海晴	2 岳洋	10.46.40	松下 海晴	2 岳洋	10.46.40	
通 1 1 0 m H	吉萬 順	2 滝川西	17.46	八木 天翼	2 滝川東	18.16	松浦 新太	2 滝川西	18.75	大石 純平	2 滝川東	19.15	伊藤 広翔	2 滝川西	19.25	山内 翔昇	2 滝川西	19.28	山内 翔昇	2 滝川西	19.28	
通 4 1 0 m R	松川西		0.47.66	刈川西		0.47.96	瀬川 渥太		0.49.52	西川西		0.50.61	瀬川西		0.51.43	大須賀 龍助		0.51.51	大須賀 龍助		0.51.51	
通走高路	大久保慎輝	2 滝川西	1m45	中嶋 花良	1 滝川西	1m40	牧瀬 美臣	1 滝川東	1m40	中嶋 花良	1 滝川西	1m35	木内 聰海	1 滝川西	1m30	菅原 太陽	2 滝川西	1m30	菅原 太陽	2 滝川西	1m30	
通棒高路	通考課組	小原 錠馬	1 滝川西	5m32	石川 弘馬	2 滝川東	5m18	牧瀬 新太	2 滝川西	5m02	酒井 浩司	2 大須賀	4m81	大久保慎輝	2 滝川西	4m80	清水 敏道	2 滝川	4m80	清水 敏道	2 滝川	4m80
通考課組	堺川 森生	1 滝川西	9m34	大木 太一	2 大須賀	9m75	八木 龍人	2 滝川西	7m20	原 榛澤	2 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	
通考課組	堺川 森生	1 滝川西	9m34	大木 太一	2 大須賀	9m75	八木 龍人	2 滝川西	7m20	原 榛澤	2 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	中川 一基	1 滝川東	7m20	

卷之三

卷之三

種目	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
	氏名	年校名	氏名	年校名	氏名	年校名	氏名	年校名	氏名	年校名	氏名	年校名
年100m	◎片岡 明里	1 沢岡	12.94	曾我 審裕	1 岩井 順	13.55	神上 実優	1 岩井 順	13.82	宇佐見 駿輔	1 沢岡	13.87
年80m	戸塚 光聖	1 挿川西	2:36.74	赤堀 紗希	1 岩岸 長國	2:38.18	長岡 万智	1 岩川東	2:38.54	藤田実央子	1 挿川西	2:39.46
通100m	◎不木 美紀	2 挿川西	12.64	松浦 莫冬	2 堀口比	13.31	齋藤 爰実	2 沢岡	13.35	永野 麻衣	2 挿川西	13.41
通200m	◎木村 美紀	2 挿川西	26.67	片桐 明里	1 沢岡	26.83	永野 麻衣	2 挿川西	27.61	松浦 南冬	2 挿川北	27.87
通80m	平野 徳奈	2 挿川東	2:31.40	赤堀 紗希	2 菊川東	2:32.03	秦田 葵花	2 挿川西	2:33.86	小野 美優	2 挿川北	2:34.14
通150mH	平野 徳奈	2 挿川東	5.08	秦田 葵花	2 菊川東	5.09	秦田 葵花	2 挿川西	5.11	清水 陽南	2 菊川西	5.13
通100MH	加藤 理翌	1 沢岡東	17.53	浅井 爰衣	2 挿川西	17.61	大石 生那	2 挿川東	18.79	武田 東子	2 挿川北	18.85
通4×100mR	○横川西	0:52.35	○横川東	0:53.42	○横川北	0:54.70	○横川西	0:55.87	○横川東	0:56.10	○横川東	0:56.46
速走全高能	山内 夏裏	2 菊川西	1m40	遠藤 真央	1 挿川東	1m40	二津 美咲	2 挿川東	1m45	後藤 蛍月	2 挿川東	1m30
速走全距離	村上 実優	1 岩岸	5m02	新野 伊織	2 挿川東	4m72	松坂 瞳	2 挿川西	4m65	大角 梓花	2 挿川北	4m44
通抱丸投	鎌木 丽歩	2 挿川東	10m12	日本 咲衣	2 挿川西	8m55	坂本 佑香	2 沢岡	8m51	船木 琳	2 挿川東	7m53
										中平 丽深	2 挿川東	7m53
										河原崎和乃	1 沢岡	1m20
										寺田 咲	1 沢岡	1m21
										鈴木 未来	2 挿川東	4m15
										油谷 未来	2 挿川東	4m15
										寺田 球未	1 沢岡	5m61
										常栗 未来	1 沢岡	5m11
										女子四体争点	65	21
										女子四体争点	1	2

◎は大会新記録、○は大会タイ記録

國考公理合計 上級行政機關各科

六國會社上級工會選舉各司局委員會上場

男子	滋川市立西中学校	堺慶勝	第3位
女子	滋川市立西中学校	堺市立菊之园中学校	御前崎市立浜岡中学校 堺市立菊之园中学校

バスケットボール

総合体育大会（男子）

＜予選リーグ＞

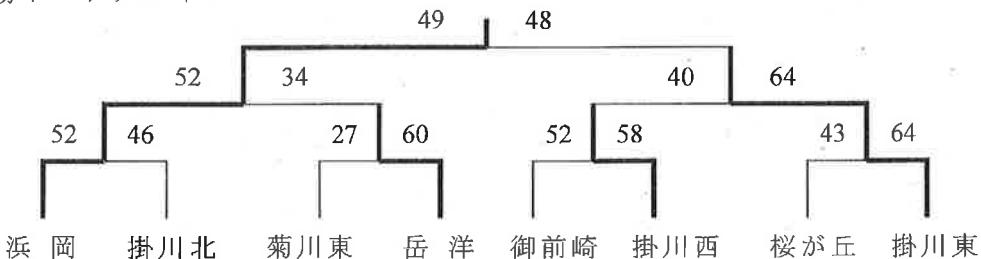
あ	浜岡	大浜	掛川北	順位
浜岡		79-23	64-42	1
大浜	23-79		28-51	3
掛川北	42-64	51-28		2

い	掛川東	常葉大菊川	菊川東	順位
掛川東		128-14	47-44	1
常葉大菊川	14-128		29-85	3
菊川東	44-47	85-29		2

う	御前崎	菊川西	桜が丘	原野谷	順位
御前崎		80-47	45-43	74-34	1
菊川西	47-80		34-65	102-37	3
桜が丘	43-45	65-34		69-47	2
原野谷	34-74	37-102	47-69		4

え	掛川西	岳洋	城東	大須賀	順位
掛川西		42-43	73-22	84-39	2
岳洋	43-42		58-32	60-47	1
城東	22-73	32-58		54-63	4
大須賀	39-84	47-60	63-54		3

＜決勝トーナメント＞



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 掛川東 3位 掛川西、岳洋

大会寸評

掛川市立北中学校 増田 陽一

決勝戦は第1シードの浜岡と第2シードの掛川東の対戦となった。序盤、浜岡は#4, 6, 8がドライブや#5, 7への合わせのプレーなどの多彩なオフェンスを仕掛けた。掛川東も#4, 6のポストプレー、#8のドライブやミドルシュートで対抗し、24-21と僅差のまま前半を折り返す。後半、掛川東が#6, 9の連続得点で流れに乗りかけても、浜岡は#4, 8を中心にゲームをコントロールし、互いに一步も譲らないまま最終クオーターファイナルを迎える。浜岡は#6, 8のミドル、#5のゴール下からのシュートで立て続けに得点を奪い、10点差をつけられたところで掛川東はタイムアウト。ここから掛川東はオールコートプレスを仕掛け、スティールから得点を奪う。対する浜岡も速い展開で加点し、浜岡6点リードのまま掛川東は再びタイムアウト。残り時間僅かとなつても掛川東は諦めず、#7がディープスリーを決め、再度プレスからボールを奪って1点差まで詰め寄るが、最後まで冷静にゲームをコントロールした浜岡が掛川東を振り切り、見事栄冠を手にした。

大会を通して、勝利した選手、敗退した選手が互いに涙を流したり、チームメイトや相手校の選手と健闘を讃え合ったりする姿が見られるなど、大変感動的な大会となった。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 鈴木 鳥太

僕たちは「小笠1位、県大会ベスト16」を目標に掲げ、毎日の練習に取り組んできました。目標を達成するために、僕たちは毎日一生懸命に練習に取り組み、自分たちで練習を考えたり、気がついたことを話し合ったり、チーム力向上に向けて取り組んできました。練習試合やコーチのアドバイスを通して、大きく成長することができました。中体連では、苦しい試合がいくつもありましたが、ベンチメンバーの応援もあってチーム一丸となり、優勝することができました。県大会では、小笠地区の代表としての自覚を持ち、最高のプレーをし、目標を達成したいです。また、応援してくれる方々への感謝の気持ちをもって県大会に臨みたいです。

総合体育大会（女子）

<予選リーグ>

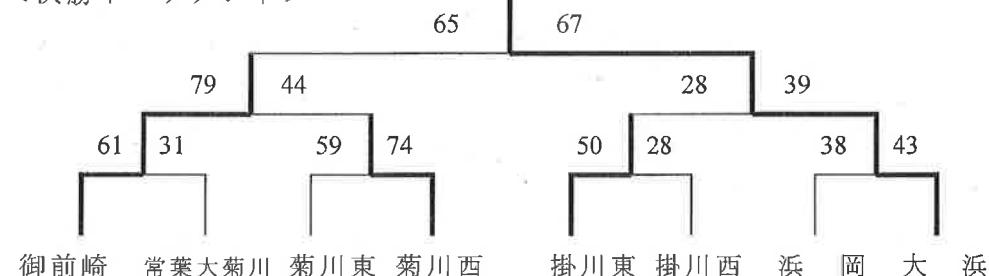
か	御前崎	常葉大菊川	岳 洋	順位
御前崎		43-42	81-27	1
常葉大菊川	42-43		58-39	2
岳 洋	27-81	39-58		3

き	大 浜	掛川西	掛川北	順位
大 浜		42-31	49-29	1
掛川西	31-42		53-34	2
掛川北	29-49	34-53		3

く	掛川東	浜 岡	大須賀	順位
掛川東		48-22	41-28	1
浜 岡	22-48		59-40	2
大須賀	28-41	40-59		3

け	桜が丘	菊川東	菊川西	順位
桜が丘		44-46	49-61	3
菊川東	46-44		50-58	2
菊川西	61-49	58-50		1

<決勝トーナメント>



大会結果 優 勝 大 浜 準優勝 御前崎 3 位 掛川東、菊川西

大会寸評

掛川市立東中学校 池田 佳将

今大会は、予選リーグから白熱した試合が数多くあった。特に、優勝候補の御前崎中に1点差にまで迫った常葉大菊川中や、ノーシードからリーグ1位突破を果たし、ベスト4に輝いた菊川西中をはじめ、どのチームも、今まで積み重ねてきた練習を、コートの中で十分に発揮し、最後までボールを追いかける姿に、会場は大きな歓声と感動に包まれた。

そんな中、決勝に勝ち進んだのは、速い攻めと抜群のシュート力を武器に、攻撃力で他チームを圧倒した御前崎中と、#4と#11を中心多彩なコンビネーションプレーで勝負強さを発揮した大浜中の両雄であった。序盤は、お互いの持ち味を出しながら一進一退の攻防を繰り広げ、34-30の御前崎中リードで前半を折り返した。後半になると、力強いドライブとミドルシュートで逆転に成功した大浜中が最大9点差までリードを広げたが、御前崎中はオールコートでプレッシャーをかけ、点差を詰めていく。さらに、試合終了間際に御前崎中の連続3Pシュートで同点に追いつき、試合は延長戦にもつれ込んだ。

その後も、お互いの意地とプライドをかけたシーソーゲームが続いたが、最後まで攻め続けた大浜中が、2点差で御前崎中を振り切り、平成元年以来、30年ぶりの優勝を勝ち取った。

優勝作文

掛川市立大浜中学校 俵山 亜純

私たちは、「県大会出場」を目標に掲げ、チームメイトでもあり、ライバルである仲間と共に一生懸命練習に取り組んできました。大会では決勝戦で何度も同じ相手に負けて悔しい思いをしてきました。だからこそ、普段の部活はもちろん、自宅での自主練で一人ひとりが努力してきました。その結果、中体連の決勝では延長戦の末、優勝することができました。優勝できたのは、今まで支えてくれた先生やコーチ、保護者、そして一緒に頑張ってきた仲間のおかげだと思います。県大会では感謝の気持ちを忘れず、仲間と共に最後まで諦めずに、楽しんで自分たちのプレーをしたいと思います。

新人総合体育大会（北部男子）

	掛川東	掛川北	原野谷	掛川西	桜が丘	順位
掛川東		58-40	69-36	67-45	77-34	1
掛川北	40-58		66-21	79-27	71-45	2
原野谷	36-69	21-66		68-40	58-35	3
掛川西	45-67	27-79	40-68		52-49	4
桜が丘	34-77	45-71	35-58	49-52		5

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川北 3位 原野谷

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 佐藤 徹弥

今大会で優勝したのは、1年生の加入により力を伸ばした掛川東であった。オールコントロールでボールを奪い、どのチームよりもスピードのあるバスケットを展開した。また、ハーフコートバスケットでも、多彩なオフェンスで他のチームを圧倒し、攻撃的なかから、守備が持つべきながちである。桜が丘は、ハンドオフなどの多彩なオフェンスを展開する掛川西、速いパス回しやセンタープレーでの得点が印象的な掛川北、ポストプレイにバリエーションのある原野谷など、大会三連覇を果たした。優勝は逃したもの、速攻を意識したバスケットが持ち味の桜が丘、ハンドオフなどの多彩なオフェンスを展開する掛川西、速いパス回しやセンタープレーでの得点が印象的な掛川北、ポストプレイにバリエーションのある原野谷など、今大会では経験の浅さが目立ちはしたが、これからますます成長が期待できる。また、どのチームも1年生の活躍が見られ、今後の成長が楽しみである。

優勝作文

掛川市立東中学校 後藤 優斗

3年生が引退し、新チームの目標を「新人戦優勝」にしました。それが達成できても良かったです。掛川北戦では、DFの足が止まり、ファールが多くかかりました。それでも試合の後半はお互いに声を掛け合い、粘り勝つことができました。しかし、南北戦では負けてしまったので、冬の大会で勝てるよう頑張ります。そして、自分やチームを応援してくれる保護者の方々や先生方に感謝し、恩返しができるように一生懸命に取り組んでいきます。

新人総合体育大会（北部女子）

	掛川東	桜が丘	掛川北	掛川西	順位
掛川東		47-43	40-27	56-15	1
桜が丘	43-47		52-38	61-32	2
掛川北	27-40	38-52		48-24	3
掛川西	15-56	32-61	24-48		4

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 桜が丘

大会寸評

掛川市立東中学校 池田 佳将

今大会は、1年生が新戦力として活躍したチームが多く、大会を大いに盛り上げた。その中で、最後まで優勝を争ったのは、昨年度の1年生大会で優勝した掛川東と、準優勝を争った掛川西である。掛川東は、ミドルシュートで点を重ねるところ、白熱の試合となりました。それでも試合の後半はお互いに声を掛け合い、粘り勝つことが出来ました。しかし、南北戦では負けてしまったので、冬の大会で勝てるよう頑張ります。そして、自分やチームを応援してくれる保護者の方々や先生方に感謝し、恩返しができるように一生懸命に取り組んでいきます。

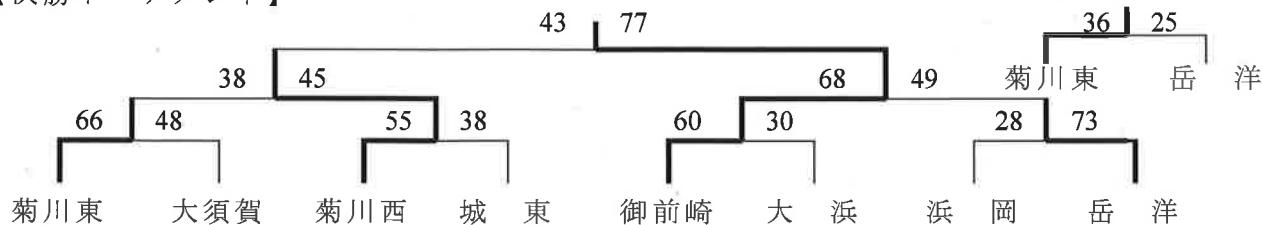
優勝作文

掛川市立東中学校 友田 莉穂

私たち東中女子バスケ部は、2年生の部員がとても少ないチームです。3年生が引退した後、2年生4人で引っ張っていかれるか心配でした。しかし、1年生は指示を出します。それをしてから聞き、すぐに動いてくれ、毎回、質の高い練習をすることができました。そんな1年生のもとに迎えた試合では、途中で逆転をされ、10点差をつけられました。しかし、休憩の時間に話し合い、再び団結し、今自分が思っていることをしっかりと実行し、勝つことができました。この試合に勝つことができます。年生や先輩、保護者の方など、たくさんの人々の支えがあったからだと思います。だから、その感謝の気持ちを忘れず、これからも良い試合ができるように頑張りたいです。

新人総合体育大会（南部男子）

【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 菊川西 3位 菊川東

大会寸評

学校組合立御前崎中学校 河村 耕太郎

この年の決勝は、ピックマンを擁する御前崎中とスピードを武器にドライブを仕掛けた菊川西中の対戦となった。序盤は菊川西中 #4 の 3Pシュートと #6 のドライブを中心に攻撃を組み立てる。対して、御前崎中は #9 のドライブを中心に攻撃を仕掛けた。また、オフェンス、ディフェンスとともに高さを誇る #10 がリバウンドライドを制し、御前崎中がリードする。後半、菊川西中は #4 の 3Pシュートや #2 のドライブで流れを引き戻そうとするが、御前崎中の #4 #9 #11 のドライブが決まり、御前崎中がゲームの主導権を握る。御前崎中の攻撃の勢いは止まらず、要所で #10 のリバウンドからのシュートが決まり、着実に得点を重ねた御前崎中が優勝を飾った。

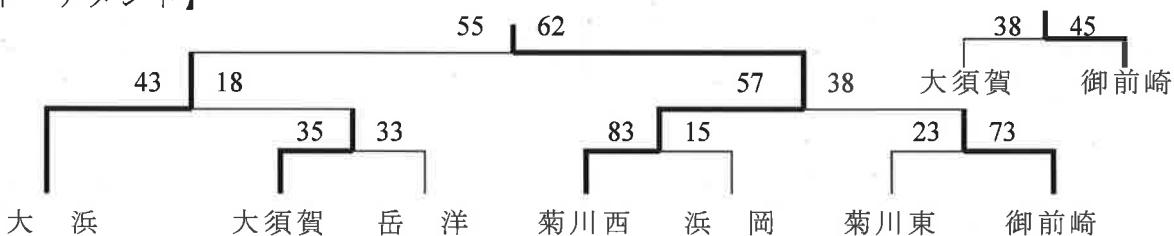
優勝作文

学校組合立御前崎中学校 原崎 快

新人戦では、素早いパス回しでリズムを作ることを意識し、繰り返し練習してきた1つを仕掛けることができました。また、チーム全員で声を出し、ゲームの流れを持つきつけてくることができました。しかし、疲れてくると声がなくなり、プレーモードに单調になってしまふことが多い課題もみえました。この課題を意識して、日々の練習に取り組んでいき、先輩たちの目標でもあった「県大会出場」を僕たちの代で達成できるよう努めています。また、忙しい中応援してくれた人たちに恩返しになるようなプレーができるように頑張ります。

新人総合体育大会（南部女子）

【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 大浜 3位 御前崎

大会寸評

掛川市立大浜中学校 横山 龍士

今年の決勝戦は、堅い守備からの速い攻撃で勝ち上がってきた菊川西中と、エースの #4 を中心とした合わせの攻撃が持ち味の大浜中の対戦となった。

序盤、大浜中は #4 のドライブやスリーポイント、#5 のジャンプシュートやゴール下のシュートで得点を重ねる。対する菊川西中も厳しいプレスで相手のミスを誘い、速い展開から作ったシュートチャンスで確実に得点をのばす。しかし試合中盤になると、菊川西中は #17 のドライブを中心に大浜中のディフェンスを巧みに崩してリードを広げていった。菊川西中の攻撃の勢いは止まらず、要所で決まる #4 のジャンプシュートで点差はさらに開いた。着実に得点を重ねた菊川西中が新人戦優勝を飾った。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 増田 明来

新人戦に向けて、オールコートディフェンスの練習を頑張っていました。練習の成果を出すことができた大会になったと思います。練習の成果を出すことはできたけれど、プレ一面での課題やプレー以外での課題も多く見つかりました。チームで出た課題を克服するために日々の練習を1回1回大切にしていきたいです。これから練習で努力を積み重ね、チームの層をもっと厚くしていくみたいです。層を厚くし、全員が試合に出場できたり、高いレベルのチームを戦うことができたりするようチーム一丸となって頑張っていきたいです。また、チームや保護者の皆さんなどに感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

サッカー

総合体育大会

予選リーグ

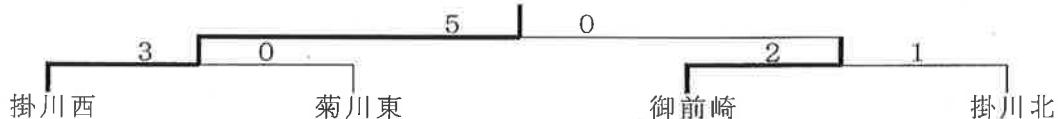
Aグループ

	掛川西	桜が丘	浜岡	御前崎
掛川西		○ 3-0	○ 1-0	○ 3-0
桜が丘	× 0-3		△ 2-2	× 1-3
浜岡	× 0-1	△ 2-2		× 0-3
御前崎	× 0-3	○ 3-1	○ 3-0	

Bグループ

	菊川東	掛川東	掛川北	菊川西
菊川東		△ 1-1	△ 0-0	○ 1-0
掛川東	△ 1-1		× 0-1	○ 2-1
掛川北	△ 0-0	○ 1-0		○ 3-1
菊川西	× 0-1	× 1-2	× 1-3	

決勝トーナメント



大会結果 優勝 掛川西 準優勝 御前崎 3位 菊川東、掛川北

大会寸評

掛川市立東中学校 余田 翼

予選リーグAグループは、第1シードの掛川西中が実力を見せつけ、予選リーグを無失点で3連勝し、1位通過を決めた。予選2位通過は御前崎中。ノーシードから2勝1敗で決勝トーナメント進出をつかみ取った。予選リーグBグループは、ノーシードの掛川北中が2勝1引き分けで1位通過を決めた。予選突破をかけた掛川東中との最終戦に引き分け、勝ち点が1上回った菊川東中が2位通過を決めた。

準決勝第1試合は、スピードを生かした縦に速い攻撃を見せた掛川西中が危なげなく勝利した。準決勝第2試合は、互いに見せ場をつくりあう白熱した試合となつたが、高い技術を生かして御前崎中が勝利した。

決勝戦は、予選リーグAグループの2チームの戦いとなつたが、予選全勝の掛川西中が前線からのアグレッシブな守備と攻守の切り替えが早く縦に速い攻撃で、終始御前崎中を圧倒し、5-0というスコアで全試合無失点での優勝を果たした。

優勝作文

掛川市立西中学校 大畑 駿介

1年前、新チームがスタートした。「1年越しの優勝」を掲げ、僕たちは一生懸命練習に励んだ。効果的な練習を追究し、その成果が出始め、勝てる試合が増えていった。しかし、夏の中体連は、たった1敗で引退を迎える。僕たちは相当なプレッシャーを感じていた。初戦の浜岡中との試合、独特な雰囲気に飲み込まれ、堅さの出る試合となった。そして、いよいよ決勝、対御前崎中。昨年度の決勝戦との同カードだった。去年の悔しさと、1年間で積み上げた自信を胸に、決勝に挑んだ。この1年間、「失点を恐れず、3点以上を取りに行く攻撃的サッカー」を合い言葉に、練習を重ねてきた。相手の強さに苦しみながらも攻め続け、優勝を勝ち取ることができた。支えてくれた顧問の先生、保護者の方々、後輩、同級生に今一度、感謝を伝えたいと思います。

新人総合体育大会（北部）

	1		2
0	PK5-3	0	
掛川北	掛川西	掛川東	桜が丘
大会結果	優勝 桜が丘	準優勝 掛川北	

大会寸評

掛川市立北中学校 萩田 駿

優勝は掛川市立桜が丘中学校であった。決勝戦では、桜が丘中は前線から激しいプレスをかけ、ボールを奪いに行き、丁寧にボールを保持して戦った。1対1と接戦のなか、中央とサイドを広く使いながら攻撃していた桜が丘中がスルーパスからの飛び出しにFWがタイミング良く飛び出し、追加点を決め勝利を収めた。桜が丘中は、選手それぞれの個性を活かしながら、スペースを上手に利用してボールを動かしていた。しかし、4校の間にフィジカル面、技術面とも大きな差はなく、試合の中でそれらをベースに特徴・個性を生かすことのできる選手育成を確実に行っていかなければならないと感じた。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 阿部 渥

私たちのチームは、新人戦北部優勝を目標として練習を重ねてきました。新チームからは、昨年よりもパワーアップした姿を見せようと、部員全員で苦しい練習も乗り越えてきました。

新人戦当日、先生から「迫力のある攻撃と守備、スピード一な攻撃」という2つのテーマを与えられ、チームは勝つためにウォーミングアップから全力で声を出し、最高の雰囲気で試合に挑みました。自分は部長としてプレーでも声でもチームを引っ張り、チームのために全力を尽くすことだけを考えました。1回戦はセットプレーから2点、流れの中から1点を奪うことができ、3対0で勝利することができました。続く決勝戦では、先制を許してしまい苦しいゲーム展開となりましたが、後半に逆転ゴールを奪って優勝することができました。2試合で5得点を奪い、最少失点に抑えて優勝することができたのは、今までの練習の成果が出たからだと思います。目標を達成することができたのはうれしかったですが、満足をしている選手はいません。夏の中体連で優勝するためにも、もっと練習に励んでいきたいと思います。

新人総合体育大会（南部）

	0		2
1	3	4	1
菊川東	御前崎	浜岡	菊川西
大会結果	優勝 浜岡	準優勝 御前崎	

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 藤根 昌樹

菊川西中対浜岡中は、前半の早い段階で菊川西が先制。菊川西中ペースで試合が進むかと思われたが、前半終了間際に浜岡中が1点を返し、その勢いのまま後半3点を追加し勝利した。菊川東中対御前崎中は、前半に御前崎中が1点を入れ後半へ。菊川東中も1点を返すも、御前崎中が2点をさらに追加し勝利した。

南部決勝、浜岡中対御前崎中は、御前崎中はフィジカルの強さを生かした攻撃を展開するが、浜岡中が自慢の攻撃力を生かし、見事優勝をつかんだ。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 德原 大亮

先輩たちの代から、僕たち2年生の代へと引き継がれた初日。チームミーティングで「新人戦優勝」という目標を立てた。最初の大会で優勝という目標を胸に、日々の練習に励んできた。練習や練習試合を通して多くの課題をクリアし、チームとしての力を高めていくことが伝わってきた。そして新人戦当日。初戦は菊川西中。試合序盤、チームの緊張がビリビリとする。そんな中で、相手に先制点を許してしまった。でもそのことが逆に僕たちの緊張を解消させることになった。同点弾、逆転弾、ダメ押し弾と結果は3対1で勝つことができた。決勝では初戦の反省を生かし、前半立ち上がりから積極的なプレーを心がけた。結果は2対0。最初の目標である新人戦優勝を達成することができた。練習や練習試合で意識して取り組んできたこと。チームメイトと改善点を話し合ってきたこと。そのすべてを出すことができた優勝だと思う。これからは、「浜岡中には勝てない」と思われるぐらいのチームを目指して練習に励んでいきたい。そしてサッカーだけでなく、礼儀やマナー、挨拶でも優れている浜岡中サッカーチームを目指していきたい。

ソフトボール

総合体育大会

大会結果

		1日目	2日目	3日目
1	(岳 洋)	4		
2	(浜 岡)	1		6
3	(掛川東)	11		10
4	(大須賀)	0	8	1
5	(菊川西)	1		
6	(桜が丘)	7		
7	(御前崎)	0		5
8	(原野谷)	4		14
9	(掛川西)	1		

【県大会出場決定戦】

g (桜が丘)		2	
c (菊川西)		11	9
b (浜 岡)		4	
a (大須賀)	0		
d (御前崎)	3	1	
e (掛川西)		11	0
f (掛川東)			1

雨天抽選
5 - 4

優勝 岳洋 準優勝 原野谷 3位 掛川東、菊川西

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 鈴木 峻輔

優勝した岳洋中学校は、前評判通りの力を発揮し、緊張感のある試合も落ち着いて堅実な試合をした。攻撃と守備のどちらにおいてもバリエーション豊富な作戦を基本に忠実に行い、得点を重ねたり、最小失点に防いだりして勝ち進んだ。準優勝した原野谷中学校は、1年かけてこつこつと着実に力を付け、県大会出場をもぎ取った。

今大会に出場するにあたって、どのチームも昨年度の新人戦から大きく成長した姿が見られた。1年間を通して、熱心に練習に取り組み、練習試合で自信を付けてきた結果だと思う。また、生徒の態度は大変素晴らしい、どの学校もグッドマナー賞に値するのではないかと思う。経験が少ない顧問も増えているため、指導力が向上するような取り組みも行いながら小笠全体の底上げを行い、上位大会でも胸を張れる地区を目指していきたい。

優勝作文

菊川市立岳洋中学校 松下 紗季

「頭とハートを使う」これが私たちソフト部の合い言葉でした。私たちの中には、小学校でソフトボールをやっていた人はいません。全員が中学校から始めた初心者です。このメンバーでどうしたら強くなることができるか一生懸命考えました。ただ練習を行なうのではなく、常に頭を使いながら「考えて」取り組みました。他のチームが1000球やって上手くなるところを、頭を使って100球で上手くなる。そんな事をみんなで言いながら練習に励みました。また、「ハート」を鍛えるために、ソフトボール以外のことにもこだわりをもって生活をしました。学校を引っ張るリーダーとして積極的に活躍し、授業中も自分を高めようと必死に取り組みました。そういう努力が今回、「優勝」という形で結果として出たことはすごく嬉しかったです。これを岳洋中ソフト部の伝統として引き継いでいってほしいです。最後になりますが、私たちを支えてくれた多くの人に心より感謝しています。ありがとうございました。

新人総合体育大会（北部）

<リーグ戦結果>

	1 原野谷	2 桜が丘	3 掛川東	4 掛川西	勝	負	順位
1 原野谷	X	○ 8 - 1	○ 9 - 2	○ 5 - 4	3	0	1
2 桜が丘	● 1 - 8	X	○ 3 - 2	○ 5 - 4	2	1	2
3 掛川東	● 2 - 9	● 2 - 3	X	○ 8 - 1	1	2	3
4 掛川西	● 4 - 5	● 4 - 5	● 1 - 8	X	0	3	4

大会結果 優勝 原野谷 準優勝 桜が丘

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 鈴木 峻輔

4チームでリーグ戦を行った。優勝した原野谷中学校は、切れ目のない力強い打線が光り得点を重ね、守備は粘り強く持ちこたえて勝利をものにした。

準優勝した桜が丘中学校は、どの試合も僅差で試合を運び、緊張感のある中で自分のプレーができるように落ち着いて声をかけ合っていた。

1位～4位のチームに実力差はほとんどなく、もう一度試合をすれば違う結果になつたであろう。審判員からも新人戦としてはどの試合もレベルが高く驚いたと褒めていただいだ。また、どのチームも試合中も試合以外でも自分たちで声をかけ合い、プレーや活動している姿が見られた。そういう姿からチームワークがどんどん伸びていくだろうと感じた。

新チームが始まってからまだ2ヶ月。これから成長する姿を想像すると期待で胸が膨らむ。走攻守全てに磨きをかけ、西部大会や県大会、その先の大会で活躍することを願いたい。

優勝作文

掛川市立原野谷中学校 矢部 莉音

夏の中体連では、県大会2回戦で敗退して悔しい思いをしましたが、先輩方の活躍を見て練習は裏切らないということを学びました。そして、この敗戦で「来年こそは」という強い気持ちがみんなの中に生まれました。しかし、いざ新チームになってみると、今までと何も変わらない自分たちがいました。思い描いていた理想のチームにはほど遠く、部員全員で何度も話し合いを重ねました。そして、新人戦はみんなの気持ちがひとつになり、強い気持ちで臨むことができました。まだミスがたくさん出てしまいますが、優勝することができて嬉しかったです。でもここで満足することなく、もっとやれると信じて練習に励みます。適切な指導をしてくださる先生、コーチ、応援してくださる保護者の方々、地域の方々、OGの方々に恩返しができるように精一杯努力していきます。ありがとうございました。

新人総合体育大会（南部）

【リーグ戦】

	1 岳 洋	2 菊川西	3 御前崎	4 浜 岡	5 大須賀	勝	負	順位
1 岳 洋		● 1 - 2	○ 15 - 6	○ 5 - 3	○ 8 - 1	3	1	2
2 菊川西	○ 2 - 1		○ 9 - 1	○ 4 - 3	○ 15 - 0	4	0	1
3 御前崎	● 6 - 15	● 1 - 9		● 4 - 7	● 8 - 11	0	5	5
4 浜 岡	● 3 - 5	● 3 - 4	○ 7 - 4		○ 12 - 1	2	2	3
5 大須賀	● 1 - 8	● 0 - 15	○ 11 - 8	● 1 - 12		1	3	4

大会結果 優勝 菊川西 準優勝 岳洋 3位 浜岡

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 水元 淳士

大会は5チームの総当たり戦で行われた。優勝した菊川西中は、基本的な技術が身に付いていて、安定した試合運びで4連勝した。バッテリーを中心とした堅い守りで流れをつくり、切れ目のない打線で得点を重ねた。準優勝の岳洋中は、高い攻撃力をもち、どの打順からも鋭い打球を飛ばし、機動力を絡めながら確実に得点を奪っていった。3位の浜岡中は、積極的なバッティングでチャンスをつくり、相手チームにプレッシャーをかけた。

どのチームも全力でボールを追いかけたり、精一杯声援を送ったり、一生懸命にソフトボールに取り組む姿が見られた。しかし、投手の制球力、打球の処理、正確な送球、カバーリング、適切な判断をした走塁など、これから改善したい点がある。これから基礎的練習を大切にし、練習試合や合同練習などを通して互いに切磋琢磨して、小笠地区の上位大会での活躍を期待する。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 小原 海音

新チームになり私たちは「全国大会出場」を目標に定めました。この目標を実現しようと日々努力をしてきました。

夏休みには、強い体幹を作り、筋力を増やすためのトレーニングをやりました。大変厳しい内容で、歩くのも困難なほど筋肉痛になりました。しかし、きついトレーニングだった分、体力もつき、打球を強く打てるようになったり、一歩目を鋭く出せるようになったり、選手の個々の能力は高まりました。その結果新人戦で優勝できたと思います。

この後、西部大会・県大会と続きます。この優勝を自信にして、選手個々の力をさらに伸ばし、チームがもっとまとまり、全員で総力を上げて戦えるようにして、目標に向かっていきたいと思います。みんなで決めた目標なので、全員の力で実現したいと思います。

軟式野球

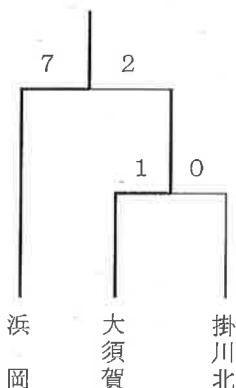
総合体育大会

1 予選トーナメント・リーグ戦 7月7日(日)

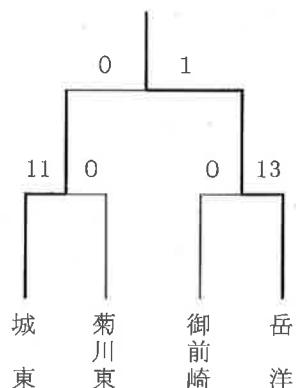
グループ	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
A	岳 洋 2 - 1 大 浜	浜 岡 2 - 1 掛川東	浜 岡 4 - 0 岳 洋	大 浜 9 - 0 掛川東
B	城 東 4 - 2 原野谷	大須賀 3 - 0 栄 川	城 東 3 - 1 大須賀	原野谷 4 - 0 栄 川
C	掛川北 9 - 0 大須賀	菊川西 7 - 0 菊川東	菊川西 1 - 0 掛川北	菊川東 17 - 2 常葉大菊川
D	桜が丘 1 - 0 掛川西	桜が丘 3 - 0 御前崎	御前崎 1 - 0 掛川西	

2 県大会出場校決定トーナメント 7月13日(土)

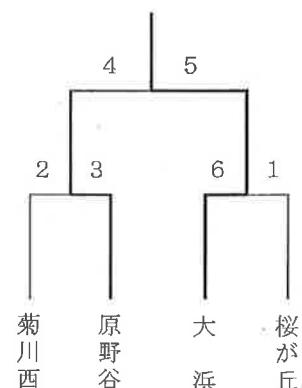
【大東総合球場】



【御前崎球場】



【菊川球場】



大会結果 【激励賞】 浜岡 岳洋 大浜

※今大会は、悪天候による日程変更で県大会出場校のみを決定しました。そのため、1~3位の順位はつきません。

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 杉山 優

はじめに、本大会は、悪天候による急な日程変更で、選手の心身にストレスのかかってしまう運営となってしまった。しかし、各チームの選手が、そんな環境にもめげず懸命に白球を追い、自分たちの成長に繋げてくれていた姿に、多くの感動が生まれた大会であった。

本大会の一試合平均の得点は、昨年度から2.22点減少(H30 8.00点→R1 5.78点)し、一点差の試合は7試合も増加(H30 2試合→R1 9試合)した。その背景には2つの要因が思い当たる。

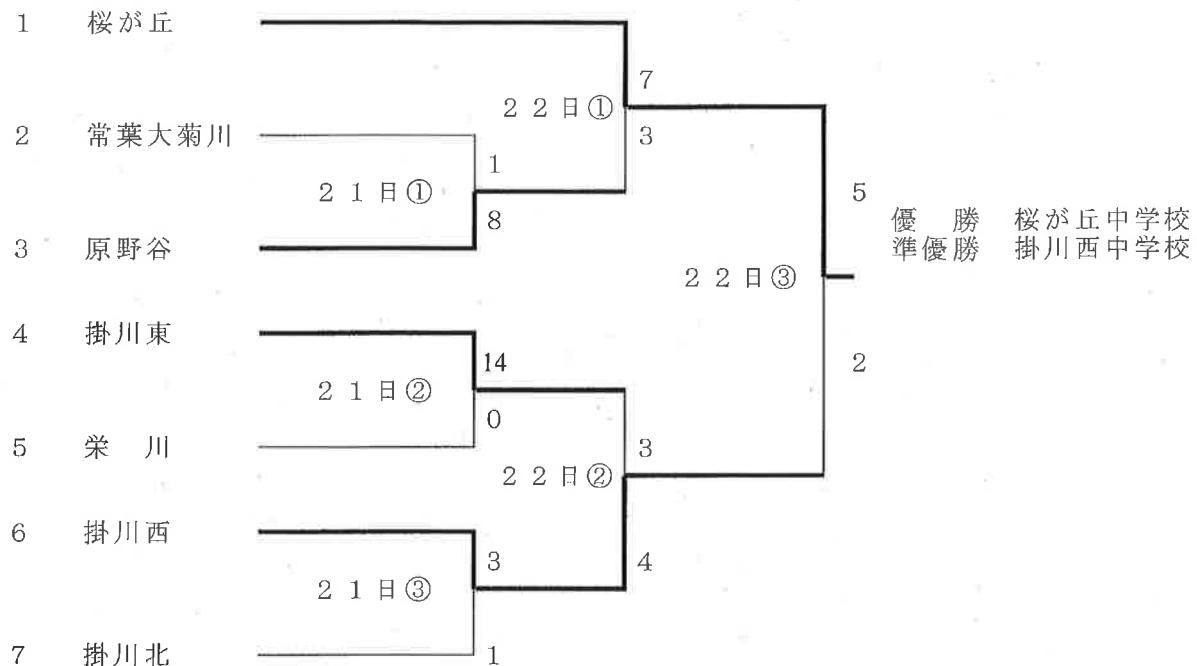
1つ目の要因は、昨年秋に公式試合球が変更され、これまでよりも重く、大きい球で試合が行われたことだ。特に、大会での打撃と、投手の投球に影響を与えた。新しい試合球は、一定以上の力のある選手であれば、これまでよりもレベルの高い結果が出る一方で、非力な選手にとっては不利になった。併せて、県内でもトップクラスの投手がいるチームが多いことから、必然的に一試合平均の得点は減少し、僅差の試合が増えたといえる。

2つ目の要因は、どのチームの選手も高い目標を掲げ、練習を積んできたことである。その結果、どこが勝ち上がってもおかしくないハイレベルな試合が展開されていった。

その中で、御前崎市立浜岡中学校、菊川市立岳洋中学校、掛川市立大浜中学校は、安定した投手力と、大量得点が可能な攻撃力を、大会で見事に発揮し県大会へと勝ち進んだ。勝敗の差は、どの試合も紙一重であった。明確なことは、培った力を発揮できたか否かで勝敗が分かれた、ということである。チームや個人の掲げた目標を達成するまでに十分な「心」「技」「体」を研ぎ澄ます努力を、選手が主体となって積んでいけるような指導を、各校顧問を中心に行っていきたい。

新人総合体育大会（北部）

9月21日（土）22日（日） 会場：大東総合球場



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川西 3位 掛川東、原野谷

大会寸評

掛川市立栄川中学校 吉田 順平

決勝戦は、2年連続の優勝を目指す掛川市立桜が丘中学校と7年ぶりの優勝を目指す掛川市立西中学校の戦いとなつた。この決勝まで、桜が丘中は、得点力十分の強力打線を武器に勝利をあげてきた。一方、掛川西中は、投手を中心とした安定した守備で、ロースコアの粘り強い戦いで勝利をあげてきた。結果は、強打に勝る桜が丘中が、粘り強く守る掛川西を持ち前の攻撃力で崩し、2年連続の優勝を飾つた。

また、今大会は、投打でチームの中心となる選手が各チームにより、県大会に匹敵するレベルの試合を繰り広げた。中でも、原野谷中のエース投手は、ストレートと変化球にキレがあり、三振が奪える力をもっており今後の活躍が期待される。また、掛川東中の正捕手は、高校級の送球で一つの盗塁も許さなかつた。

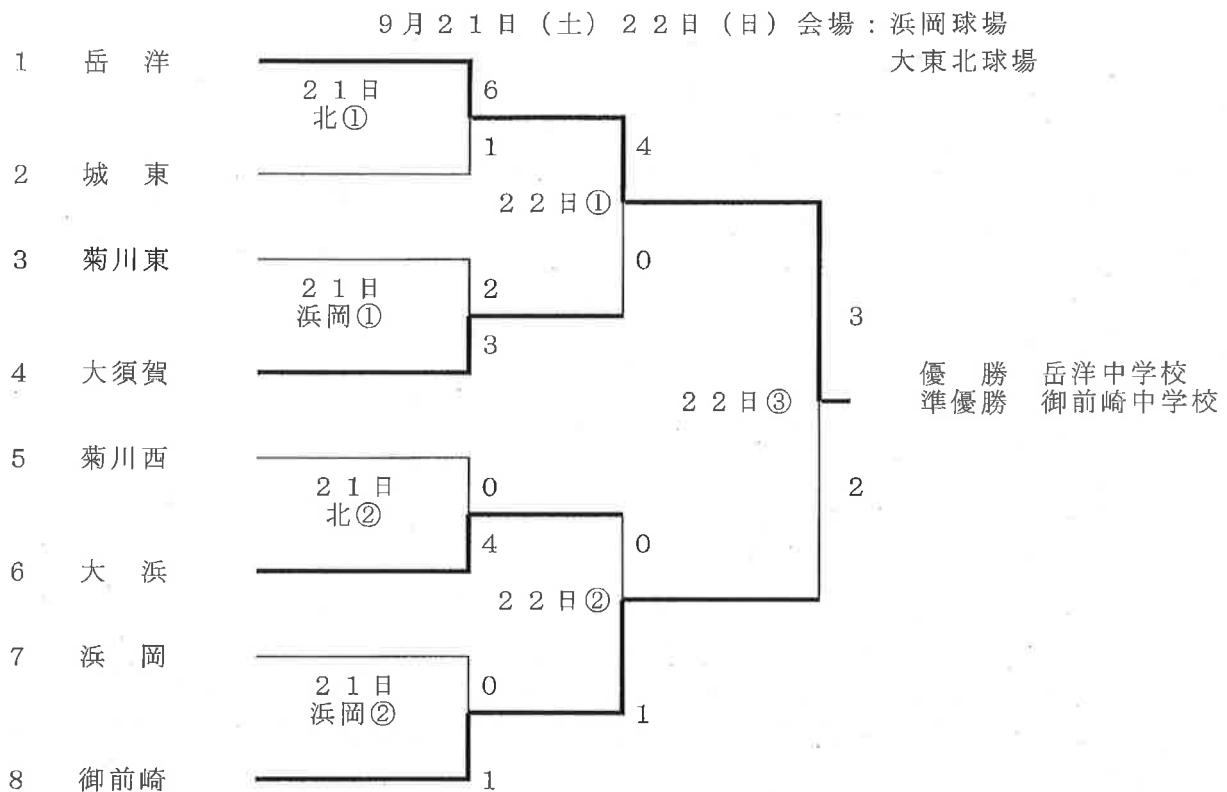
優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 山本 真広

7連敗中で迎えた新人戦。正直勝てるのか不安でした。新チームが結成して約2ヶ月、僕たちは「打ち勝つ野球」をモットーに、練習に打ち込んできました。どんな投手にも対応できるように家でも素振りを怠らず行い、この大会では自分達の野球を貫き通すことを目標に頑張りました。そして、全員で声を出して、全員でプレーして、全員で楽しんで試合をしました。全員で一丸となったからこそ優勝できたと思うし、全員で優勝を勝ち取ったことに価値があると思います。

しかし、これはチーム目標である「県制覇」への第一歩にすぎません。この結果に奢ることなく更に努力を重ねていかなくてはこの目標には届きません。一戦一戦を大切に、どのような状況でも諦めずにプレーしていく、成長し続けられるチームにしていきたいです。これからも貪欲に勝利を目指し、自分たちのプレースタイルを貫き、どんなチームにも打ち勝つていけるように頑張ります。

新人総合体育大会（南部）



大会結果 優勝 岳洋 準優勝 御前崎 3位 大須賀、大浜

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 杉山 優

優勝した菊川市立岳洋中学校は、安定した守備力と攻撃力を発揮した。特に攻撃については、打者一人ひとりが粘り強く出塁したり、ランナーを確実に次の塁へ進めたりして、試合の流れを呼び込んでいったことが優勝の大きな要因となった。準優勝の学校組合立御前崎中学校は、丁寧な守備で失点を抑え、チーム全員が元気な声を出して流れを呼び込み、試合の要所で得点をあげていった。また、終盤での粘り強さも見せた。どのチームも、新チームが始まり間もない時期ではあるが高い力を発揮し、改めて小笠中学野球のレベルの高さを実感する大会となった。このレベルの高い地区内で互いにしのぎを削ることで、県大会・東海大会・全国大会出場で活躍できるようにしていきたい。

優勝作文

菊川市立岳洋中学校 堀 孝輔

新チームになってから、西部大会優勝を目指に取り組んできた。一つ上の先輩達の夏の中体連で県大会3位になり中日本大会に出場させてもらった経験と、どこにも負けない練習量を自信に大会に臨んだ。しかし、南部大会で優勝することができたのは経験の差だけであり、自分たちの練習の成果は十分に発揮できなかった。課題ばかりが見つかった南部大会だった。今大会で見つかった課題を一つずつ改善し、来夏の中体連で全国出場できるように県ナンバー1の取り組みをして頑張っていきたい。

ソフトテニス

総合体育大会（男子） 団体戦 <予選リーグ>

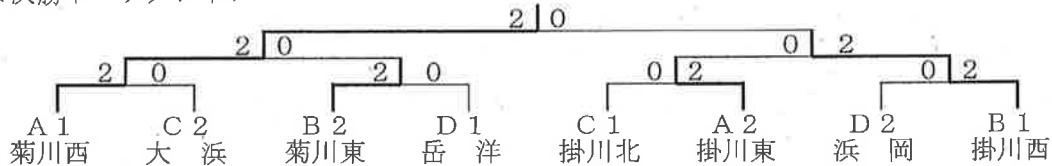
A	菊川西	御前崎	掛川東	順位
菊川西		③	②	1
御前崎	0		1	3
掛川東	1	②		2

B	掛川西	原野谷	菊川東	順位
掛川西		③	②	1
原野谷	0		0	3
菊川東	1	③		2

C	掛川北	桜が丘	大浜	順位
掛川北		②	③	1
桜が丘	1		1	3
大浜	0	②		2

D	岳 洋	城 東	浜 岡	順位
岳 洋		③	②	1
城 東	0		0	3
浜 岡	1	③		2

<決勝トーナメント>



<三位決定戦>

掛川東 2 - 1 菊川東

大会結果 優 勝 菊川西 準優勝 掛川西 3 位 掛川東、菊川東

個人戦

優 勝	山田・伊藤凜 (掛川西)	準優勝	佐藤・松下 (菊川西)
3 位	岡本・杉田 (菊川西)	4 位	杉山・内野 (菊川西)
5 位	矢越・大村 (掛川東)	6 位	山本・青島 (菊川西)
7 位	鈴木穂・山本琉 (掛川北)	8 位	水野・作野 (菊川西)

大会寸評

菊川立菊川東中学校 松下 浩人

雨の影響で1日延期となり、団体戦を全員で戦い抜くことができなかつたことが悔やまれるが、団体戦、個人戦ともに充実した大会となつた。団体戦では、各グループシード順通りに予選を突破したが、4月のシード戦でベスト4に入っていた岳洋と掛川北に、菊川東、掛川東が勝利してベスト4に進んだ。決勝戦は、菊川西と掛川西の対戦となつたが、新人戦で県大会を制覇した勢いそのままに、菊川西がストレート勝ちを収めた。今年度の小笠地区は、第3位までが県大会に出場できるということで、県大会出場をかけた3位決定戦も行われた。菊川東と掛川東が互いに声を枯らしながら熱い戦いを繰り広げ、掛川東が2対1で勝利し、悲願の県大会出場を決めた。個人戦では、団体戦に続いて菊川西が5ペアの県大会出場を決めた。また、掛川西、掛川東、掛川北の選手も県大会出場を決めた。

今大会は菊川西中が大活躍であった。新人戦で県大会優勝をしたことで、小笠地区に3校の県大会出場枠が用意され、他の学校も例年以上に団体戦での県大会出場を目標としていたと思う。輝かしい活躍を見せた先輩達に続き、新チームの躍動にも期待したい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 佐藤 遥斗

7月7日、団体戦が行われました。僕達3年生にとっては、最後となる大会です。2年半、この日のために全員が一丸となって練習してきました。出場するメンバーだけでなく、2年生、1年生も全員で戦い抜く事ができました。そして、優勝という結果を残す事ができました。しかし、僕達は簡単に優勝できたわけではありません。今まで支えてくださった家族やチームメイト、先生やコーチがサポートしてくれて、常に素晴らしい環境で一生懸命練習することができたからです。時には部内で意見の食い違いが起きたり、中々結果を残せなかつたりした時もありました。そんな時こそ全員で助け合い、指摘し合うことで僕達は強くなることができたと思います。

昨年の県新人大会団体戦で優勝し、そのプレッシャーか、チームとしてつらい時期が何度もありました。それも乗り越え、全員でつかんだ優勝は、とてもうれしかつたです。

僕達の目標は全国大会出場です。そのためにも、小笠大会で優勝して、第1シードとして県大会を迎えることができてよかったです。小笠地区代表として、何百人の人の気持ちを背負い戦うことは、すごく大変なことです。だからこそ、そのプレッシャーに打ち勝ち、全力で戦うことが今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを伝えることができると思います。この小笠大会は、とても良い経験になりました。

総合体育大会（女子）

大会結果

団体戦 <予選リーグ>

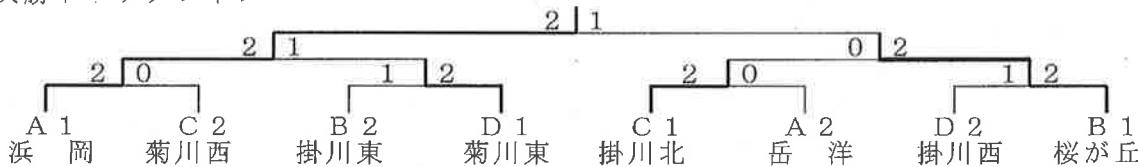
A	浜岡	原野谷	岳洋	順位
浜岡		③	③	1
原野谷	0		0	3
岳洋	0	③		2

B	桜が丘	御前崎	掛川東	順位
桜が丘		②	③	1
御前崎	1		1	3
掛川東	0	②		2

C	掛川北	大須賀	菊川西	順位
掛川北		③	②	1
大須賀	0		1	3
菊川西	1	②		2

D	掛川西	城東	菊川東	順位
掛川西		③	1	2
城東	0		0	3
菊川東	②	③		1

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 桜が丘 3位 菊川東、掛川北

個人戦	優勝 青山・大谷 (菊川東)	準優勝 鈴木美・須藤 (浜岡)
	3位 森・池谷 (掛川北)	4位 下嶋・石山 (掛川北)
	5位 鈴木杏・杉本 (桜が丘)	6位 伊藤・阿部 (浜岡)
	7位 尾谷・友田 (掛川東)	8位 武藤・岩崎 (掛川西)

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 藤野 政夫

大会前から雨続きで、大会初日も雨のため予備日に順延して今年度の大会がスタートした。

団体戦は、雨天続きで練習不足のため、各校立ち上がりは無理をしない丁寧な試合が多くみられた。各リーグの1位抜けしたチームは、試合の感覚をつかみ決勝トーナメントでは、練習してきたことを十分に發揮した。優勝した浜岡は、安定した打球と前衛の攻めで、確実にポイントを積み重ね、連続優勝を飾った。個人戦では、4月の選手権大会以降着実に力を付けた8ペアが上位に入った。ベスト8以降の試合では、ファイナルゲームが多く、力の差はほとんどなく、どのペアが勝ってもよかったです。決勝戦もファイナルゲームの勝負となつたが、青山・大谷ペアの逆転勝利で優勝を収めた。

今年度の大会も、選手や応援生徒のマナーの良い参加態度で気持ちの良い大会となった。また、保護者や卒業生、地元のテニス愛好者が観戦し関心の高さを感じた。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 德本 優月

私たちがチーム全体でつかみ取った、小笠大会団体戦優勝。常に一人ひとりが高い意識をもって声を掛け合い、最後の夏に向けて全力で歩んできたからだと思います。ただがむしゃらに練習を重ねました。普段の練習では一球一球に集中して取り組み、技術の向上などを意識しながらプレーしました。そういった毎日の練習の中で、ペアと一緒に信頼関係が生まれ、さらに仲間との間に絆が生まれ、チーム全體に一体感が出てきました。声が枯れるまで全力で応援してくれれる仲間。私たちの一員近くで見守り、支え、数えきれないほどたくさんのこと教えてくださった顧問の先生。お弁当を作ったり、後押しをしてくれたりした家族。いろいろな方々のおかげで、優勝をつかみ取る事ができました。「ありがとうございました。」の一言では伝えきれないほど、感謝の気持ちでいっぱいです。ここまで頑張れたことを誇りに思います。

新人総合体育大会（北部男子）
(団体戦)

	桜が丘	原野谷	掛川東	掛川北	掛川西	勝	負	順位
桜が丘		②	0	0	0	1	3	4
原野谷	1		0	0	0	0	4	5
掛川東	③	③		1	1	2	2	3
掛川北	③	③	②		1	3	1	2
掛川西	③	③	②	②		4	0	1

大会結果 優勝 掛川西 準優勝 掛川北 3位 掛川東

(個人戦) 準々決勝以降 (40ペア参加)

伊藤・吉井 (掛川西) ——— 0 鈴木・廣田 (掛川東)

矢島・染葉 (掛川北) ——— 0 稲垣・稻垣 (掛川西)

村松・朴 (掛川北) ——— 0 松井・石野 (掛川東)

磯谷・谷野 (掛川西) ——— 1 1 0 伊藤・阿部 (掛川西)

優勝 稲垣晴・稻垣陽 (掛川西) 準優勝 伊藤・吉井 (掛川西) 3位 伊藤・阿部 (掛川西)

4位 磯谷・谷野 (掛川西) 5位 松井・石野 (掛川東) 6位 矢島・染葉 (掛川北)

7位 鈴木・廣田 (掛川東) 8位 村松・朴 (掛川北)

大会寸評

掛川市立東中学校 曽根 隆央

今大会も選手、応援の保護者とともにマナーがよく、気持ちいい大会となった。天気が心配されたが、選手達、先生方のおかげで迅速に運営が進み、雨が降る前に大会を終えることができた。

団体戦では、掛川西中が危なげなく勝ち上がり優勝。掛川北中が準優勝、掛川東中が3位となつた。大きな声で仲間を応援する学校が多く団体戦らしい、学校同士の熱い戦いが繰り広げられた。団体優勝の掛川西中は、ミスを恐れない果敢なプレーで勝ち上がり、個人戦1位～4位に入賞した。掛川東中は5位、7位入賞、掛川北中は6位、8位に入賞した。

全体的な課題点は、審判技術の向上である。審判の判定が曖昧で、何度も進行が止まることがあった。また、自信がないのか声が小さく、カウントが聞き取れないことがあった。各校が練習試合などで、審判技術の向上に努めていきたい。

大会を運営するにあたり、会場の掛川西中学校、競技別会長の掛川西中の窪野先生、また、救護にあたっていただいた同校の武藤先生、各校の生徒や顧問の先生、保護者の方々の協力の元、大会を無事終了できたことに感謝します。

優勝作文

掛川市立西中学校 稲垣 晴太

夏の中体連が終わり、3年生が引退しました。夏休み前、僕たちの実力は3年生に比べたら全然ありませんでした。だから、僕たちは日々の練習や大会などに課題をもって取り組むようにしました。そうすることで、個々の技術を上げることができました。しかし試合をしていくと、技術以外の課題も見つかりました。例えば、試合中に仲間へのアドバイスの質を上げることです。仲間にアドバイスすれば、その仲間が新たに自分の課題を見つけることができます。この課題を達成させるためには、仲間の試合をしっかり見てどうすれば良いか考える力が必要です。

これからは練習中でも、しっかりと仲間を見てアドバイスをしていき、部員全員で強いチームを作っていくような部活動にしていきたいです。また、道具の準備や片付けを素早く行い、少しでも練習時間を生み出し、夏に向けてより良い練習を積んでいきたいです。

新人総合体育大会（北部女子）

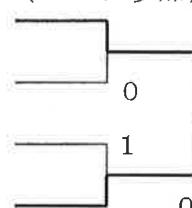
(団体戦)

	掛川西	桜が丘	掛川東	原野谷	掛川北	勝ち	負け	得失	順位
掛川西		0	③	②	②	3	1		2
桜が丘	③		③	②	③	4	0		1
掛川東	0	0		②	1	1	3		4
原野谷	1	1	1		1	0	4		5
掛川北	1	0	②	②		2	2		3

大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川西 3位 掛川北

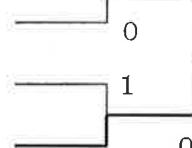
(個人戦) 準々決勝以降 (34ペア参加)

下嶋・池谷(掛川北)



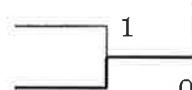
星・大角(掛川北)

山本・戸塚(原野谷)



鈴木萌・丸山(桜が丘)

宮澤・鳥山(掛川西)



浅原・赤堀(掛川西)

鈴木聖・二村(桜が丘)



村松・杉本(桜が丘)

優勝 下嶋・池谷(掛川北)	準優勝 村松・杉本(桜が丘)	3位 鈴木聖・二村(桜が丘)
4位 星・大角(掛川北)	5位 宮澤・鳥山(掛川西)	6位 浅原・赤堀(掛川西)
7位 鈴木萌・丸山(桜が丘)	8位 山本・戸塚(原野谷)	

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 川中 瑞貴

今大会は台風の影響が心配されたが、両日とも天候に恵まれ予定通り開催された。大会役員をはじめ多くの先生方、生徒の協力によりスムーズに大会を進行することができた。大きな怪我や病気もなく生徒たちは、はつらつとした全力プレーを見せてくれた。

団体戦では、桜が丘中学校が全勝で優勝した。個人の力だけでなくチーム全体の勢いを作り出せたことが頂点を取る要因となった。個人戦の決勝戦はファイナルゲームまでもつれ込み、カウント7-5の大接戦の末、掛川北中の下嶋・池谷ペアが優勝を果たした。強力なサーブと広い守備範囲を備えた前衛の池谷、粘り強いラリーとコースを正確に狙い撃つ後衛の下嶋のチームワークが光る試合となった。しかし、これから上位大会を勝ち抜く上では、まだまだ効果的に試合展開を組み立てる力を鍛えていかなければならない。その点に成長の余地を感じる試合内容であった。小笠地区全体で切磋琢磨し合い、勝てるチームを作っていくたい。

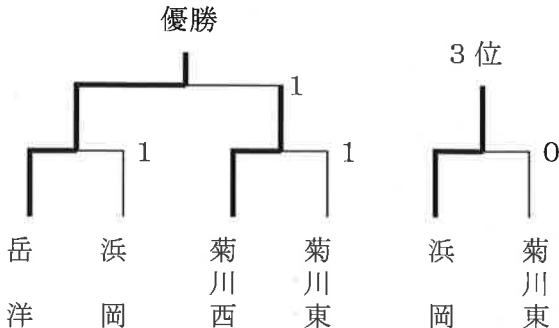
大会を運営するにあたり、会場準備や運営に協力してくれた各校の生徒、各校顧問の先生、保護者の方々のお陰で大会を無事終了できることに感謝します。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 杉本 和

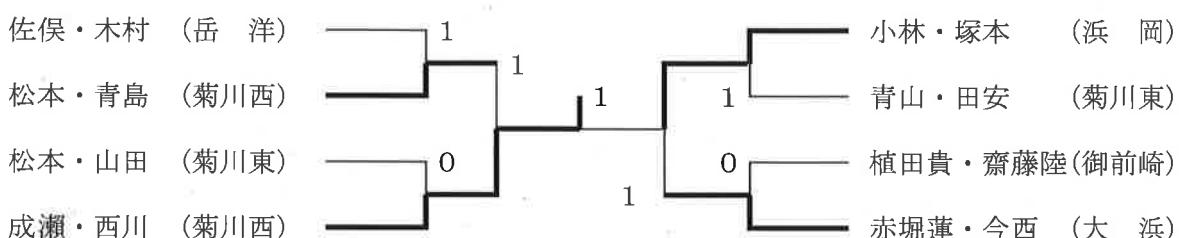
「絶対に優勝しなければならない」という気持ちで今大会に臨みました。昨年度私は、一年生で団体戦メンバーとして試合に出させていただきました。その時は、何も考えずにただ試合に勝つことだけを思って戦っていました。しかし、今回は部長として、団体戦メンバーとして、そして昨年度の優勝校として臨む大会であったため、とても責任が重く、試合前日からとても緊張していました。今回優勝できたのは私たちのために一生懸命応援してくれた仲間や家族、指導してくださった先生方やコーチのおかげです。本当にありがとうございました。今回、優勝と同時にたくさん課題が見つかりました。これからはその課題を克服するため、これまで以上に一生懸命練習に取り組んでいきたいと思います。

新人総合体育大会（南部男子） (団体戦)



大会結果 優勝 岳洋 準優勝 菊川西 3位 浜岡

(個人戦) 準々決勝以降 (64ペア参加)



大会結果

優勝	成瀬・西川 (菊川西)	準優勝	小林・塙本 (浜岡)	3位	松本・青島 (菊川西)
4位	赤堀蓮・今西(大浜)	5位	佐保・木村 (岳洋)	6位	植田貴・齋藤陸(御前崎)
7位	松本・山田 (菊川東)	8位	青山・田安 (菊川東)		

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 松下 浩人

団体戦は、岳洋中が予選から無敗で勝ち上がり優勝を飾った。個人戦で上位に入賞したペアを擁する菊川西中に予選、決勝と勝利し、チーム力の高さを見せた。個人戦では、今年も菊川西中が優勝を飾る結果となった。今年はベスト8に入ったペアのうち、3ペアの後衛が1年生であり、今後の成長が楽しみである。ラケットをしっかりと振り切れる選手が多くなったことも印象的である。

新チームになってから初の公式戦で、緊張しながらプレーした選手が多くいたと思われるが、団体戦では予選や決勝トーナメント、順位決定戦を問わずに熱い応援が多く、気持ちのこもったプレーが多く見られた。しかし、その一方でサーブレシーブのミスが目立った。ダブルフォルトや、簡単なレシーブミスが多く見られたので、テニスの基本であるサーブレシーブの精度を上げて試合をスタートすることが、今後の各校の課題となるだろう。

各校顧問の先生方、会場準備をしてくれた菊川西中、本部補助の菊川東中の生徒、応援の保護者の皆様の協力でスムーズに運営できたことに心から感謝したい。

優勝作文

菊川市立岳洋中学校 坂神 貴太

令和元年の新人戦は、僕たち2年生にとっても初めての公式戦となりました。僕を含む数人は先輩の人数が少なく、試合経験がありました。でも、そのときは先輩を勝たせてあげることができず、悔しい思いで夏が終わりました。自分達の代になり、部長としての重圧と責任を感じる大会でした。

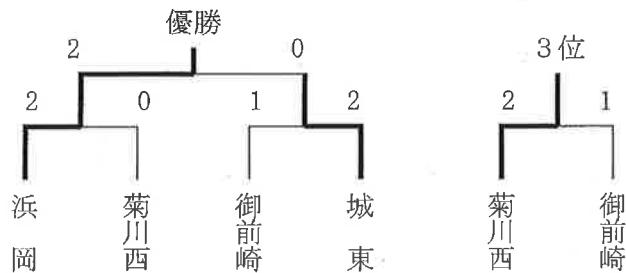
今年入部した15人の1年生の見本となり、先輩から受け継いだ岳洋中男子ソフトテニス部の伝統を守るために、部長として声を出して練習に取り組んできました。試合に出場したメンバーだけでなく、コートの外から応援してくれたメンバー、保護者や高校生の皆さん、そして1番大きな声で応援してくれた先生、ボールを拾って下さる地域の方々全員に心からお礼を言いたいです。ありがとうございました。

今までの大会ではあまりいい結果を出せませんでした。でも、その悔しさを糧に練習してきました。当日、相手にマッチポイントを握られ、これで負ける…という場面が何度かありました。それ以上に弱気になってしまふ場面もたくさんあったでしょう。そこを乗り越えることができたことは、日頃の練習の成果だと思います。

この結果に満足することなく、毎日の練習に謙虚に取り組み、周りへの感謝の気持ちを忘れず、もっともっと強くなりたいです。そして、夏の中体連もいい結果が出せるよう、部員全員で頑張りたいと思います。

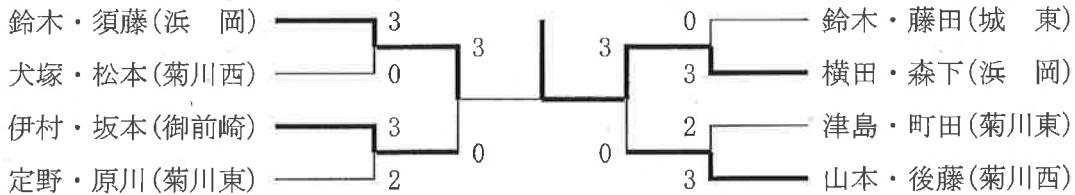
新人総合体育大会（南部女子）

(団体戦)



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 城東 3位 菊川西

(個人戦) 準々決勝以降 (参加55ペア)



大会結果

優勝	横田・森下 (浜岡)	準優勝	鈴木美・須藤 (浜岡)	3位	山本心・後藤 (菊川西)
4位	伊村・坂本 (御前崎)	5位	犬塚・松本 (菊川西)	6位	津島・町田 (菊川東)
7位	定野・原川 (菊川東)	8位	鈴木な・藤田 (城東)		

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 藤野 政夫

前日まで、雨予報だった天気も当日朝は心配なく2日間予定通り大会を開催することができた。

団体戦では、試合経験豊富な浜岡中が力の差を見せ優勝を飾った。個人戦は、浜岡中1番手対2番手の決勝戦となった。粘り強いストロークで試合をすすめ、ポイントの奪い合いの末、横田・森下ペアが勝利を収めた。本大会では、後衛の打球力で勝利するペアが多かったが、今後前衛の力が高まり本来のソフトテニスの戦いが多くなることを期待したい。

2日間の選手は、マナー等とても良く大会運営がとてもスムーズで良かった。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 鈴木 美桜

夏の大会が終わり、ともに戦ってきた先輩方が引退してから新チームとして、この大会での優勝を目指してきました。私は先輩がいないチームではどうすれば今までのような強くまとまりのあるチームにできるか、どうすれば自分はみんなの力になれるのかを考えながら行動してきました。

全員で意識していることは、「大きな声を出すこと」「移動をスムーズに行うこと」です。移動を素早く行うことで、ボールを打つ時間が長くなると考えます。しかし夏休みの間は、なかなか声を出せない仲間や、ボール拾いをだらだらと行ってしまう人がいました。そんな仲間を注意できずにいましたが、言わなければ伝わらないと思い、声を掛け合う雰囲気を作るよう2年生を中心に意識を高めてきました。この大会ではたくさんの課題も見つかりました。試合で実力を出すために自分の気持ちをコントロールしなければいけないことや、仲間が全力を出し切るために上手な声掛けができるようにならなければいけないことです。

日々の積み重ねが、中体連での勝利につながると思います。チーム全員で一生懸命にこれらのことを取り組み、全員で成長していくように頑張ります。

剣道

総合体育大会

男子団体戦

<予選リーグ>

Aリーグ 1位 大須賀

2位 御前崎

Bリーグ 1位 菊川東

2位 岳 洋

<決勝リーグ>

	大須賀	岳 洋	御前崎	菊川東	順位
大須賀	X	○ 2-1	○ 4-0	○ 4-0	1
岳 洋	×	X	×	×	4
御前崎	×	○ 3-1		×	3
菊川東	×	○ 3-2	○ 2-1		2

大会結果 優勝 大須賀 準優勝 菊川東 3位 御前崎

女子団体戦

	大浜	浜岡	菊川東	菊川西	勝ち点	勝者数	順位
大浜	X	○ 4-0	○ 4-1	□ 1-1	5	9	1
浜岡	×	X	×	×	0	1	4
菊川東	×	○ 4-1		×	2	5	3
菊川西	□ 1-1	○ 4-0	○ 2-0		5	7	2

大会結果 優勝 大浜 準優勝 菊川西

個人戦

大会結果（男子） 優勝 大石 聖也（大須賀） 準優勝 早間 良矢（大須賀）
 3位 雑賀 将綱（大浜） 3位 小柳津和俊（大須賀）

大会結果（女子） 優勝 漆原 結芽（大浜） 準優勝 ビラカンパニカ（菊川西）
 3位 豊田真由子（菊川西） 3位 阿部まひろ（大須賀）

大会寸評

掛川市立大浜中学校 高橋 季実子

今大会は、例年になく涼しい環境での開催となった。新人戦から各チームがそれぞれに実力をつけ、どのチームが勝ってもおかしくないような熱戦が各試合で見られた。

男子では、昨年の大会や秋の新人戦で活躍した選手を擁する大須賀中が隙のない試合を展開し優勝した。準優勝の菊川東中をはじめ、予選リーグを勝ち進んだ御前崎中、岳洋中も見応えのある試合を展開し、決勝リーグはどの試合も大いに盛り上がった。女子は、チーム数の減少により今年度も総当たりのリーグ戦で順位を競うことになった。秋の新人戦で優勝した大浜中、そして初優勝を狙う菊川西中の試合が一進一退の試合展開で、わずかな勝者数差で大浜中が逃げ切り優勝を手にした。どのチームも最後まで諦めずに仲間のために力強く戦い抜く姿が印象的であった。

選手個々に目を移すと、団体戦でも個人戦でも、最後の大会にかける想いをぶつける3年生の気持ちのこもった試合とキラリと輝く1、2年生の活躍が見られた。また、応援する生徒の姿勢やマナー、開閉会式の様子、あいさつや返事の声、一つの指示で整然と素早く全体で動ける姿など、どの学校もグッドマナー賞にふさわしい態度であった。

優勝作文（男子）

掛川市立大須賀中学校 大石 聖也

僕たち大須賀中学校は、この一年間東海大会出場、県大会上位入賞を目標に日々の稽古に一生懸命取り組んできました。

しかし、僕たち生徒だけの力ではここまで剣道をやってくる事はできなかったと思います。先生・先輩たちの指導、そして保護者の方々の支援があったからこそ、地区大会で良い結果が出せました。

今回の地区大会でも、いろいろな方への感謝と恩返しができるようにという気持ちで一戦一戦戦ってきました。時には、苦しい試合、苦しい展開もありましたが、これまでどの学校よりも稽古を積んできたという自信をもち、自分たちのチームワークを信じて勝ち抜くことができました。

次の県大会では、小笠代表として出場するという自覚をもち、自分たちの目標を達成できるようにしたいです。

優勝作文（女子）

掛川市立大浜中学校 夏目 こはる

私たち大浜中学校剣道部はこれまで、小笠総体で優勝し県大会に出場することを目標に日々の稽古に取り組んできました。

この2年半の間、私たちは先鋒から大将まで一本を繋ぐことを意識してきました。私たちのチームには絶対的なエースはいません。だからこそ、一人ひとりが一本を繋ぐことが重要になってきます。小笠総体では、気持ちを一つにして先鋒から大将まで一本を繋ぎ、優勝することができました。

私たちがこのような結果を出すことができたのは、日々指導し、応援し、稽古ができる環境をつくってくださった先生方や保護者の方々の支えがあったからだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、お互いに切磋琢磨しながら稽古に励んでいきたいと思います。

新人総合体育大会

男子団体戦 〈決勝トーナメント〉

優 勝	大 浜 中
第 2 位	菊 川 西 中
第 3 位	岳 洋 中

女子団体戦 〈決勝戦〉

優 勝	菊 川 西 中
-----	---------

個人戦

大会結果 (男子)	優 勝	松下 快斗 (大 浜)	準優勝	服部 夏樹 (菊川東)
	3 位	内田 海 (大 浜)	3 位	尾崎 快光 (御前崎)

大会結果 (女子)	優 勝	藤澤 南 (菊川東)	準優勝	高橋 美咲 (大須賀)
	3 位	阿部まひろ (大須賀)	3 位	横山 慧奈 (岳 洋)

大会寸評

掛川市立大浜中学校 高橋 季実子

男子では、夏の小笠大会から試合に出場している4人の選手を擁している大浜中が、チームで「繋ぐ」を意識した試合展開で見事優勝した。2位の菊川西中も要所でポイントを取り、粘り強く奮闘する戦いが見られた。チームのために一本取ろうと気迫あふれる試合が多くあった。

女子は、出場校や出場選手の減少により菊川西中と菊川東中の2校での決勝となった。5人メンバーが揃う菊川西中が勢いのある戦いぶりで優勝した。個人戦では、菊川東中の藤澤選手が1年生ながら気迫ある攻めで相手から一本を取り、優勝を果たした。

全体として、出場校や出場選手の減少はあるものの、最後まで戦い抜く姿勢やチームで一本を繋ごうとする気迫ある試合が各試合場で見受けられた。また、試合以外でも乱雑になっていた靴を揃えたり、整然と整列をする姿があったりと所作の部分でも小笠地区剣道部の良い伝統が受け継がれていた。今後、厳しい冬場の稽古で鍛錬を積み、各チームが心技体それぞれに成長し、夏の小笠大会でさらなる活躍を期待している。

優勝作文 (男子)

掛川市立大浜中学校 松下 快斗

3年生が引退し、初めての公式戦を迎えるました。僕たち、大浜中学校はいつも初戦の入りが悪く、中体連の時も良い結果を残すことができませんでした。だから新人戦では初戦の入りを意識して試合に臨みました。すると、チーム全体が全力を出し切ることができ、順調に勝ち進み、優勝を手にすることことができました。

今回の優勝という素晴らしい結果を残せたのは、指導してくださった先生方、応援してくださった保護者の方々、そして部員一人ひとりの活躍のおかげだと思います。この結果に満足せず、もっと成長していきたいです。そして、小笠地区の代表として出場する西部地区新人戦や羽賀杯、来年の夏の中体連でよりよい成績が残せるように、切磋琢磨していきたいと思います。

優勝作文 (女子)

菊川市立菊川西中学校 川田 姫万梨

新チームになり、私たち菊川西中学校女子剣道部は、新人戦団体戦優勝を目指して稽古に励んできました。

その目標を達成するためには、厳しい稽古にもあきらめずに取り組んできました。そのため個人の力や技も上達していきました。昨年の新人戦よりも団体戦での一人ひとりの役割を果たすことができたので、今回優勝することができたと思います。

みんなから応援してもらえるチームになるために、普段の生活からあいさつをしっかりしたり、身の回りの整理整頓をしたりしていきたいです。そして、一回一回の稽古を大切にして、感謝の気持ちをもって過ごしていきたいです。

水泳

総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東
	【女 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東

大会寸評

掛川市立東中学校 杉山 晃弘

ここ数年雨に見舞われた大会でしたが、本年度は晴天に恵まれ、選手らも日々の練習の成果を十分に発揮することができ、夏の総体のスタートにふさわしい清々しい大会となりました。各学校のテントからは、自校の選手だけでなく、個人参加の他校の選手を積極的に応援する声が聞こえ、「チーム小笠」として高め合う雰囲気が感じられました。大会への出場人数が年々減少する中、出場者たちが同じ水泳仲間の活躍を「学校」という枠を超えて喜べることは素晴らしいことです。そして、気持ちのよい挨拶や礼ができることが多く、「小笠のよさ」であると感じました。一方、西部大会において特に小笠の選手の泳法違反が多かったことは今後の課題であり、小笠大会で注意を促す必要があると考えています。

最後に、本大会がスムーズに運営できたのは、当日協力してくださった各校の役員の先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

優勝作文（男子）

掛川市立西中学校 岡本 隼

僕たちは、小笠四冠を目指し、練習をしてきました。後輩や卒業した先輩方、顧問の先生、朝早くから応援に来てくださった保護者の方たちの支えのおかげで今年も、男子優勝、女子優勝、総合優勝をすることができました。部員全員で勝ち取ったこの結果を、誇りに思います。ありがとうございます。

4月から一年生も入って、大変なことも多くありました。けれど、3年生全員で協力したこと、大変なことも楽しいと思えるようになりました。そして、2年生も3年生をサポートしてくれました。水泳は個人競技です。常に自分との戦いですが、団体競技と同じように全員で目標に向かって練習に取り組みます。水の冷たさや厳しい練習に何度もやめたくなることもありましたが、部員47人全員で声を掛け合い、絆を深め困難も乗り越えてきました。その結果、大会で一つになることができ、本当に嬉しく思いました。また西中水泳部だけではなく、他校の選手の応援も私たちの力となりました。ありがとうございます。

最後に後輩のみなさん。西中水泳部の伝統を忘れずにしっかり引き継いでください。そして、どんなに苦しくて、辛い練習でも、笑顔で明るく、元気に頑張ってください。応援しています。とても、楽しい3年間になりました。ありがとうございます。

優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 松浦 あかり

私たち西中水泳部の部活動Tシャツには、「己に克て」という言葉が書かれています。水泳は個人競技です。ですが、部活として、部員みんなで練習をしています。小笠四冠に向けて頑張って練習をしてきたことが成果となって、男子優勝、女子優勝、総合優勝を取ることができ、とても嬉しく思います。後輩や先輩方、顧問の先生方、いつも近くで支えてくれ、応援してくれた保護者の皆様。たくさんの方の支えがあったからこそ、とてもいい結果を残すことができたと思っています。

思い返すと冬季練習はプールが工事で使えなかったため、ランニングと縄跳びの陸上トレーニングをしていました。プールに入るようになってからは、去年よりも練習の質が高まり、制限タイムが早くなったり、より専門的なメニューになったりと、とてもきついた練習が続きました。そんな時こそ成長ができるチャンスだと思い、一生懸命頑張りました。

今年の小笠大会は、やはり去年の新人戦との違いを感じました。新人戦が終わったら、ミニーティングを開き、課題を出し合い中体連までに改善できるようにしました。去年は小さかった応援も2年生が工夫してくれて、1年生もみんなで応援することができました。他の改善点もみんなが意識して良くしていこうという姿勢が見られ、とてもよかったです。

私は全然頼りないし、副部長としての仕事ができていたのかもわからないけれど、たくさんの部員が協力してくれて、ついてきてくれてとても嬉しかったです。

最後に後輩の皆さん。これからも伝統を忘れずに、練習や応援を本気で全力で取り組み、すばらしい水泳部をつくりあげてください。応援しています。

令和元年度 小笠地区中学校総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位	
自由形	大野 将斗	中2	清水 省吾	中3	山本 朝日
50m	掛川西		掛川西		掛川東
	27.65		29.17		30.47
自由形	清水 省吾	中3	山本 朝日	中3	尾川 鳩
100m	掛川西		掛川西		浜岡
	01:03.87		01:05.56		掛川西
			01:09.69		01:11.74
自由形	尾川 鳩	中1	増井 優斗	中2	小出 陸翔
200m	浜岡		掛川西		掛川東
	02:34.42		02:42.00		掛川西
			02:44.86		02:48.00
自由形	川下 真矢	中3	宮木 シド	中2	松本 拓也
400m	掛川西		掛川西		掛川東
	05:47.71		05:50.55		掛川東
			06:24.28		06:29.73
自由形	横山笑夢斗	中3	清水 龍	中1	小野田舞祐
1500m	菊川東		菊川西		掛川西
	18:51.48		19:41.79		掛川西
			25:31.47		26:01.32
背泳ぎ	大石 充希	中3	大庭 拓真	中3	川下 真矢
100m	掛川東		掛川西		掛川西
	01:13.12		01:16.55		掛川西
			01:25.04		掛川西
			01:30.62		
背泳ぎ	大石 充希	中3	大庭 拓真	中3	落合 春貴
200m	掛川東		掛川西		掛川西
	02:37.13		02:50.70		掛川西
			03:16.43		03:27.76
平泳ぎ	秋山 泰良	中3	岡本 鷹哉	中3	福田 隼利
100m	掛川東		掛川西		掛川東
	01:18.89		01:21.86		掛川西
			01:22.89		掛川西
			01:26.17		
平泳ぎ	岡本 鷹哉	中3	秋山 泰良	中3	福田 隼利
200m	掛川西		掛川東		掛川東
	02:54.41		02:56.92		掛川東
			03:00.70		掛川西
			03:02.23		
バタフライ	横山笑夢斗	中3	清水 龍	中1	小出 陸翔
100m	菊川東		菊川西		掛川東
	01:09.03		01:09.38		掛川西
			01:16.76		掛川西
			01:25.60		
バタフライ	金田 浩生	中3	鈴木 琢真	中2	
200m	掛川西		掛川西		
	03:21.26		03:31.81		
個人メドレー	大野 将斗	中2	岡本 隼	中3	齋藤 耕輔
200m	掛川西		掛川西		掛川東
	02:31.31		02:52.18		掛川西
			02:53.36		掛川東
			03:11.39		
個人メドレー	岡本 隼	中3	齋藤 耕輔	中3	秋山 樹良
400m	掛川西		掛川西		掛川東
	06:19.76		06:20.00		掛川西
			06:57.98		07:11.42
FR	掛川西		掛川東		
400m	04:17.80		04:29.72		
MR	掛川東		掛川西		
400m	04:50.86		05:02.45		

学 校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位	
掛川東	65	2	56	2	
掛川西	137	1	87	1	
掛川北			10	6	
岳洋	0	6	9	8	
浜岡	9	4	10	6	
菊川西	8	5	12	3	
菊川東	12	3	12	3	
桜が丘			12	3	

女子	1位	2位	3位	4位	
自由形	内藤 裕希	中1	川合 美結	中1	岡部 真於
50m	菊川西		掛川西		掛川東
	33.35		35.06		36.78
自由形	松浦あかり	中3	栗平 真生	中2	鶴木ひなの
100m	掛川西		掛川西		掛川東
	01:08.41		01:09.11		01:24.92
					01:43.78
自由形	中野 啓夢	中3	佐藤 りん	中3	水野 美尋
200m	掛川西		掛川西		掛川東
	02:52.94		02:55.38		03:26.25
					03:28.36
自由形	越塙 彩稀	中1	中野 啓夢	中3	鶴木 祐里
400m	桜が丘		掛川西		掛川東
	05:27.89		06:32.99		掛川西
自由形	越塙 彩稀	中1	水野 美尋	中1	奥山 秋乃
800m	桜が丘		掛川東		掛川東
	10:58.60		16:04.48		16:17.66
					19:07.70
背泳ぎ	黒田 はな	中2	横井 菜月	中2	川合 美結
100m	菊川東		掛川東		掛川西
	01:18.38		01:34.50		01:34.64
					01:36.64
背泳ぎ	黒田 はな	中2	横井 菜月	中2	鈴木希咲来
200m	菊川東		掛川東		掛川東
	02:44.03		03:27.87		03:39.37
平泳ぎ	内藤 裕希	中1	松浦 莉緒	中3	鈴木 麻央
100m	菊川西		掛川東		掛川西
	01:32.27		01:48.76		01:49.82
					01:51.30
平泳ぎ	松浦 莉緒	中3	鈴木 麻央	中3	原田愛衣理
200m	掛川東		掛川西		掛川東
	03:50.57		03:56.99		04:05.15
					04:35.66
バタフライ	齋藤 和音	中2	松浦あかり	中3	松本 朱里
100m	浜岡		掛川西		岳洋
	01:16.54		01:16.60		01:17.19
					01:46.48
バタフライ	松本 朱里	中1	齋藤 和音	中2	
200m	岳洋		浜岡		
	02:51.94		02:52.56		
個人メドレー	栗平 真生	中2	谷川 舞香	中2	
200m	掛川西		掛川北		
	02:36.44		02:36.56		
個人メドレー	谷川 舞香	中2			
400m	掛川北				
	05:34.18				
FR	掛川西		掛川東		
400m	05:08.20		05:53.31		
MR	掛川西		掛川東		
400m	05:38.19		06:43.51		

総 合	総合順位	
121	2	
224	1	
10	7	
9	8	
19	5	
20	4	
24	3	
12	6	

新人総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東
	【女 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東

大会寸評

掛川市立東中学校 杉山 晃弘

熱中症が危惧されるような猛暑と断続的に降る雨、さらには機器のトラブルなど、様々な配慮を要した大会でしたが、新人選手たちの頑張りと、各校の役員の先生方の御協力のおかげで、無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

スイミングに所属する選手が例年に比べても少ない印象があり、学校の部活動の練習のみで大会に臨むので、記録としてはやや物足りなさを感じますが、それでも、3年生引退後、短い練習期間の中で、最大限自分を磨こうと努力してきた成果が表れ、入賞した選手たちの泳ぎには力強さを感じられました。さらに、泳ぎを覚えて間もない1年生の成長ぶりも目を見張るものがありました。来年の夏までの成長が楽しみです。

また、夏の総体同様、学校の枠を超えて「チーム小笠」として水泳仲間を積極的に応援する姿が見られました。「小笠の誇り」ともいえる素晴らしい姿です。この雰囲気を今後も大切にしていきたいと考えています。

優勝作文（男子）

掛川市立西中学校 三谷 修平

新人戦は、3年生が引退し、初めて行う大きな大会でした。中体連が終わってから新人戦に向けて、練習をしてきました。お互いに高め合ってきた力を出し切り、たくさん的人に支えられ、今年も優勝することができます、たくさんの方々に感謝でいっぱいです。

私は、副部長に決まったとき、驚きと不安でいっぱいでした。水泳部は人数が多く、部員をまとめていけるかどうか心配でした。ですが、水泳部員は全員明るく、話もよく聞いてくれるので、その悩みはすぐに消えました。副部長として、引っ張っていかなくてはいけない立場になったのに、逆に部員に支えてもらった気がします。明るく、協力し合える水泳部の絆はとても強いと実感しました。大会でも、とても大きな声で選手を応援できたり、あたたかい声かけをしたりと、よりチームが一つになったように感じました。この時に、先生が言っていた「水泳は団体戦」という言葉の意味がよくわかりました。新人戦は、掛川西中水泳部の良さがあふれたとてもいい大会であったと思います。今回の新人戦で感じたことを、これから練習へ生かしていきたいと思います。

部員のみんな、支えてくれた方々、ありがとうございました。

優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 栗平 真生

3年生が引退し、1年生と2年生だけの初めての大会でした。3年生がいたときのようにスムーズにはいかなかつたけれど、そんな中でも、一人ひとりが進んで行動し、よい大会にすることができたと思います。そして、中体連に引き続き、男子優勝、女子優勝という結果を残すことができました。

7月になり、3年生が引退し、2年生と1年生だけになりました。3年生がいない部活は想像できなくて、3年生がいない部活は想像以上に大変でした。ミーティングでは、どうしたら部員全員が一つになるかを話し合いました。「みんなが参加し、みんながリーダーになる。」という課題を克服するために、一人ひとりが役割をもつことを考えました。すると、徐々に部員が参加してくれるようになり、少しまとまってきたような気がしました。この新人戦は、一人ひとりがリーダーという意識を少しでも抱いてきたからこそ男女とも優勝できたのだと思います。しかし、まだまだたくさんの課題があります。まだ全員がリーダーには慣れていないし、応援も役割も、練習もより良くしていくことができると思います。この課題は中体連に繋げる大きな架け橋になると思います。先輩たちの思い、小笠五冠と、上位大会にみんなで行くことができる大会にしていきたいと思っています。水泳部のみなさん、まだ頼りない部長だけれど、みんなで楽しく最後まで最高の部活にしたいと思っています。あと少しの間だけれど、ついてきてくれるととても嬉しいです。がんばっていきましょう。

最後に、保護者のみなさまや先輩、先生方。新人戦の優勝は、みなさまの応援のおかげです。ありがとうございました。中体連でも、精一杯、全力を尽くしますので、応援よろしくお願ひします。

令和元年度 小笠地区中学校新人総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位		女子	1位	2位	3位	4位	
自由形	大野 将斗	中2	田宮 逸光	中2	三谷 修平	中2	金田 蒼生	中2			
50m	掛川西		掛川東		掛川西		掛川西				
	27.96		31.15		32.11		32.40				
自由形	増井 優斗	中2	尾川 風	中1	渥美 聖治	中2	花村 実来	中1			
100m	掛川西		浜岡		掛川東		掛川西				
	01:08.72		01:09.67		01:11.53		01:13.10				
自由形	尾川 風	中1	増井 優斗	中2	濱口 慧太	中2	山田 直樹	中2			
200m	浜岡		掛川西		掛川西		掛川西				
	02:32.26		02:35.59		02:48.99		02:53.56				
自由形	宮木 シド	中2	濱口 慧太	中2	櫻井 秀	中2	鈴木 拓真	中1			
400m	掛川西		掛川西		掛川東		掛川東				
	05:43.55		06:05.65		06:10.57		07:53.62				
自由形	清水 龍	中1	宮木 シド	中2	小野田舞祐	中2	杉山 哲祥	中1			
800m	菊川西		掛川西		掛川西		掛川東				
	10:04.84		11:57.15		12:57.38		14:31.93				
背泳ぎ	落合 春貴	中2	平川 謙	中2	和田 悠太	中2	水野 志堂	中1			
100m	掛川西		掛川東		掛川西		掛川西				
	01:25.49		01:29.80		01:30.64		01:34.44				
背泳ぎ	落合 春貴	中2	水野 志堂	中1	長門 海里	中1	井山 秀介	中1			
200m	掛川西		掛川西		掛川西		掛川東				
	03:02.04		03:26.48		03:40.71		03:52.55				
平泳ぎ	三木 琢叶	中2	三谷 修平	中2	森山 瑞己	中1	花村 実来	中1			
100m	掛川西		掛川西		菊川西		掛川西				
	01:24.67		01:29.00		01:32.01		01:34.01				
平泳ぎ	秋山 樹良	中1	三木 琢叶	中2	森山 瑞己	中1	畠 登志晃	中1			
200m	掛川東		掛川西		菊川西		菊川東				
	02:55.41		02:56.63		03:19.77		03:29.49				
バタフライ	清水 龍	中1	田宮 逸光	中2	鈴木 琢真	中2	坂井 陽介	中1			
100m	菊川西		掛川東		掛川西		掛川西				
	01:11.01		01:22.32		01:33.03		02:02.43				
バタフライ	山田 直樹	中2	相原 輝翼	中1							
200m	掛川西		掛川西								
	03:18.64		03:56.29								
個人メドレー	秋山 樹良	中1	金田 蒼生	中2	鈴木 琢真	中2					
200m	掛川東		掛川西		掛川西						
	03:03.53		03:15.27		03:22.21						
個人メドレー	大野 将斗	中2									
400m	掛川西										
	05:41.22										
FR	掛川西		掛川東								
400m	04:35.00		05:00.90								
MR	掛川西		掛川東								
400m	05:09.72		05:28.58								

学校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位	
掛川東	51	2	49	2	
掛川西	137	1	85	1	
掛川北			12	3	
岳洋			10	6	
浜岡	10	4	10	6	
菊川西	18	3	12	3	
菊川東	3	5	12	3	
桜が丘			10	6	

総合計	総合順位	
100	2	
202	1	
12	6	
10	7	
20	4	
30	3	
15	5	
10	7	

小笠中学校体育連盟（旧連合）歴代役員一覧表

小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表

西暦	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	
年 度	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年		
バレーボール	男女																																			
卓球	男女																																			
柔道																																				
陸上	男女																																			
駅伝	男女																																			
バスケットボール	男女																																			
野球	男女																																			
水泳	男女																																			
体操	男女																																			
西暦	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
年度	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年		
ハンドボール	男女																																			
卓球	男女																																			
柔道	男女																																			
陸上	男女																																			
駅伝	男女																																			
バスケットボール	男女																																			
野球	男女																																			
水泳	男女																																			
体操	男女																																			
西暦	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
年度	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年		
ハンドボール	男女																																			
卓球	男女																																			
柔道	男女																																			
陸上	男女																																			
駅伝	男女																																			
バスケットボール	男女																																			
野球	男女																																			
水泳	男女																																			
体操	男女																																			

(注) 三笠(現掛川北) 菊川(現菊川西) 鎌津(現掛川西)

() 内の校名に変更された現在にいたる。

感動をありがとう

